学校法人 産業能率大学 総合研究所

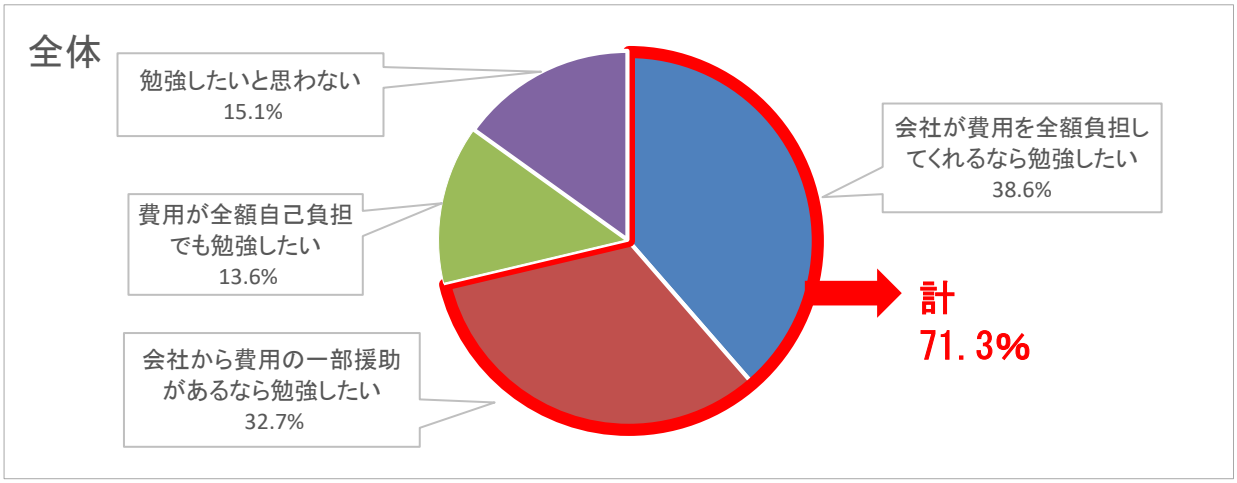
２０１９年６月

２０１９年度（第３０回）

新入社員の会社生活調査

注目データ

・業務時間外での勉強は“会社の援助があれば”学びたい…７１．３％



・副業制度があれば“利用したい”…６４．０％（昨年度比７．４ポイント増）

・「転勤せずに同じ場所で働き続けたい」…３６．４％（過去最高）

・１か月に許容できる残業時間“１～１０時間”…１８．３％（過去最高）

目　次

● 総　　括・・・P．１
● 注目データ・・・P．２　～　P．３
● 調 査 概 要・・・P．４
● 調 査 結 果・・・P．５　～　P．１１
● デ ー タ 集・・・P．１３　～　P．３５

お問い合わせ先　学校法人産業能率大学　総合研究所　マーケティングセンター
〒158-8630　東京都世田谷区等々力6-39-15　電話：03-5758-5117、ﾌｧｸｽ：03-5758-5503

学校法人産業能率大学 総合研究所（東京都世田谷区）は、新入社員の働く意欲や新社会人としての意識、将来の目標などに関するアンケートを実施し「２０１９年度 新入社員の会社生活調査」としてまとめました。

調査は3月２８日から4月１０日まで、本学の産能マネジメントスクールが開催する「新入社員セミナー」に参加した１０４社４４２人の新入社員を対象に実施し、４２９人（男性２８１人・女性１４８人）から有効回答を得ました。

この調査は１９９０年度から「新入社員の会社生活調査」として継続して実施し、今年度で３０回となります。

総　括

働き方改革が叫ばれる昨今、1か月間の残業時間について何時間なら許容できるかと尋ねたところ、“１～１０時間”とする回答が昨年よりも増えて過去最高となりました。（問８）

時間に余裕ができると、仕事以外の時間の使い方が重要になります。そこで今年度の新入社員に、業務時間外に勉強したいかを初めて尋ねました。“勉強したい”とする新入社員は全体で約８５％となり、学習意欲が高いことがわかりました。自分磨きの意識は高いようです。学習のための費用負担については、「全額自己負担でも勉強したい」とするのは１３．６％で、残りの約７１％は会社からの援助を求めています。（問１１）

また、働き方改革の一環として関心が高まっている「副業」について、会社に副業が可能な制度があった場合に利用したいかを尋ねました。その結果、６４．０％が“利用したい”（「利用したい」＋「どちらかといえば利用したい」）と回答し、昨年度から７．４ポイント増加しました。昨年は“副業元年”とも言われ、従業員の副業を認める動きが広がる可能性が指摘されています。新入社員も副業に期待している様子がうかがえます。

同様に利用したいかを尋ねた「テレワーク」と「時差出勤」は、それぞれ約６０％、約８３％と望む声が多く、いずれも昨年度よりも高くなっています。ここでも働き方に対する多様なニーズが見てとれます。（問１０）

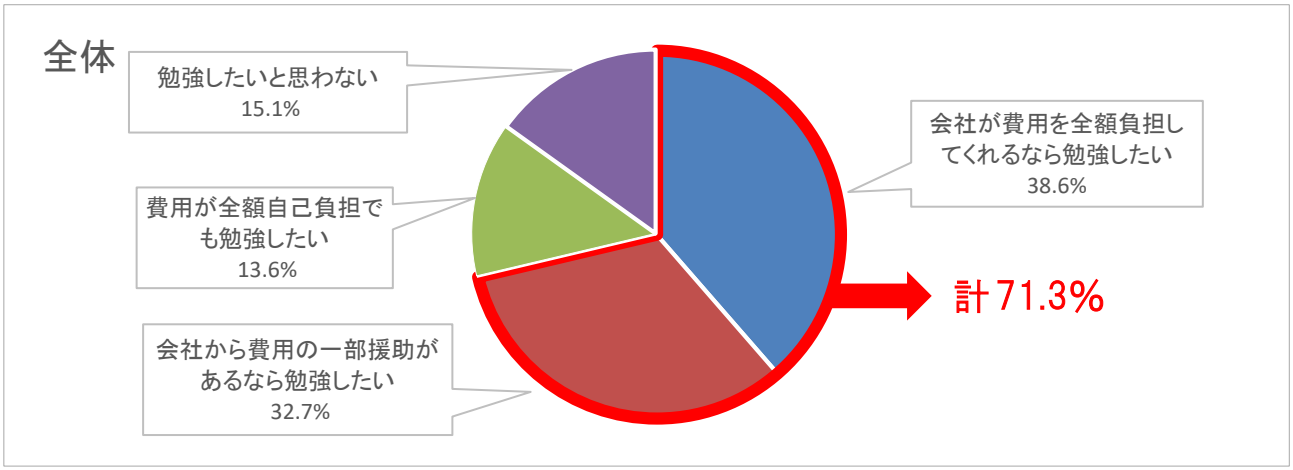
転勤についての質問では、「一度も転勤せずに同じ場所で働き続けたい」が昨年度から約１０ポイント増の３６．４％と過去最高なりました。一方、「転居の有無、期間に関係なく転勤してもよい」は、昨年度から２ポイント減の２１．６％と過去最低なりました。（問９）

「ＬＩＮＥなどのメッセージアプリを業務でも使用したいか」については、「使用したい」が昨年度から１１．５ポイント増の６２．２％となり、ビジネスシーンでの利用希望が増加しています。ちなみに調査項目には入っていませんが、新入社員セミナーの中にビジネス文書について学ぶ研修がありますが、Ｅメールを一度も使ったことがない受講者が少なからず存在します。今どきの新入社員にとっての連絡手段は、メールではなくメッセージアプリとなっているようです。（問２０）

また、「あなたは上司からＳＮＳで友達申請があったらどう思いますか」では、「嬉しい」が昨年度を５ポイント上回って１５．８％となり、こちらでもネットを介したコミュニケーションの拡大が進んでいます。（問２１）

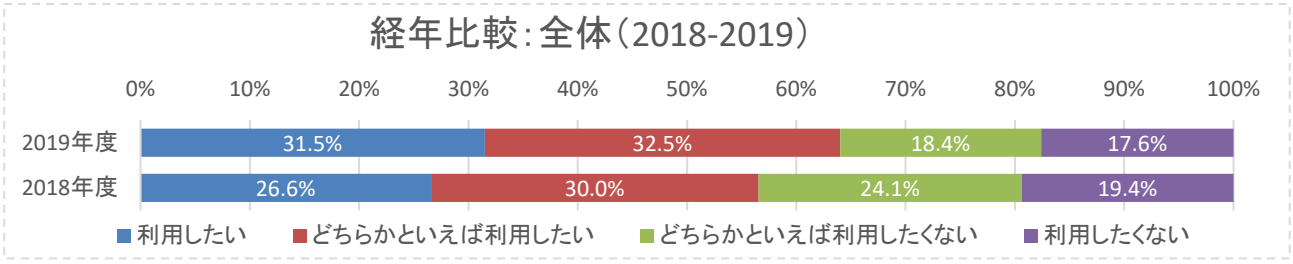
注目データ

◆業務時間外での勉強は“会社から援助があれば”⇒約７１％



業務時間外でセミナーや通信研修、学校、自習などの勉強をしたいかを尋ねました。その結果、「会社が費用を全額負担してくれるなら勉強したい」が３８．６％、次いで「会社から費用の一部援助があれば勉強したい」が３２．７％となり、会社からの援助があれば勉強したいとする新入社員は、合わせて７１．３％となっています。「費用は全額自己負担でも勉強したい」とする積極派も１３．６％に上り、「勉強したいと思わない」とする新入社員は１５．１％にとどまりました。

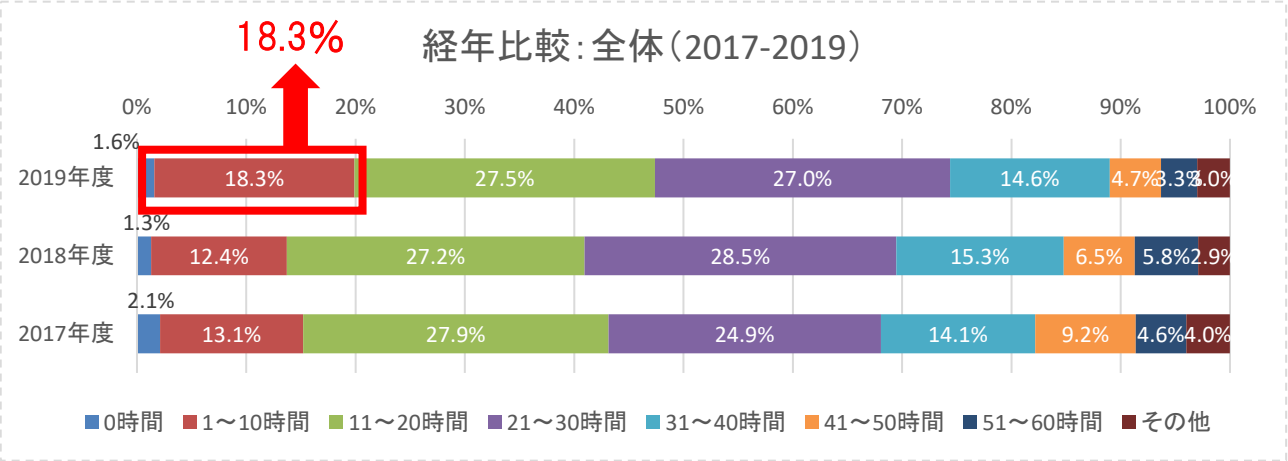
◆副業制度があれば“利用したい”⇒６４％
昨年よりも７．４ポイント増加



働き方改革の柱の一つとして、副業を制度として認める施策の拡大があります。会社に副業の制度があった場合の利用意向を聞きました。その結果、「利用したい」が３１．５％、「どちらかといえば利用したい」の３２．５％を合わせると６４．０％が“利用したい”としています。昨年度に比べ７．４ポイント増加しました。

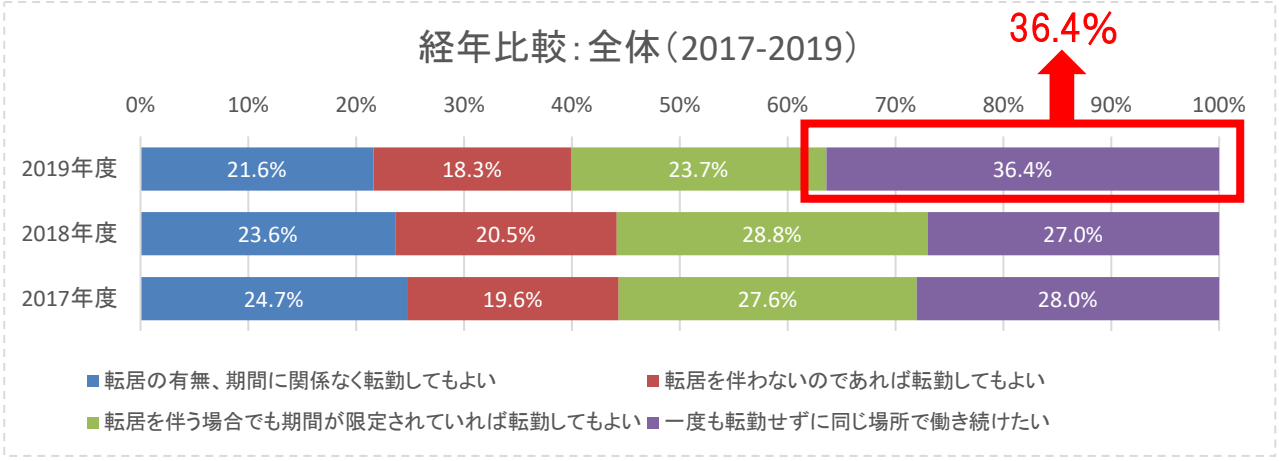
また、同様にテレワークと時差出勤について尋ねたところ、テレワークについては「利用したい」が３５．２％、「どちらかといえば利用したい」が３１．１％で、合わせると６６．３％が“利用したい”としています。時差出勤については「利用したい」が５３．８％、「どちらかといえば利用したい」が２９．６％で、合わせると８３．４％が“利用したい”としています。対昨年度比では、テレワークが０．５ポイント、時差出勤が３．５ポイントの増加となっています。

◆１か月に許容できる「残業時間」は“１～１０時間”が過去最高



１か月間にどの程度の残業時間なら許容できるかを尋ねると、２１時間以上は軒並み減少する一方で、「１～１０時間」が昨年度を大きく上回り過去最高の１８．３％となりました。一方、４１時間から６０時間までの回答は合計で８．０％と昨年度（１２．３％）から４．３ポイント減少しています。働き方改革が唱えられる昨今ですが、新入社員は残業を避けたいという意識が強くなっています。

◆「転勤せずに同じ場所で働き続けたい」　⇒約３６％



転勤について尋ねると、「一度も転勤せずに同じ場所で働き続けたい」とする回答が３６．４％で、昨年度よりも９．４ポイントと大幅に増加しました。

◆「年金に期待しない」　⇒約６８％

将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているか尋ねたところ、「期待していない」（３４．７％）と「どちらかといえば期待していない」（３３．６％）を合わせた６８．３％が年金に期待していないことがわかりました。昨年度（６２．２％）よりも６．１ポイント増えています。

調査概要

１．調査対象　　産能マネジメントスクール主催の新入社員セミナー参加者のうち
１０４社４４２人

２．調査時期　　２０１９年3月２８日～4月１０日

３．調査方法　　書面アンケートによる回答肢選択方式

４．有効回答　　４２９人
（男性２８１人・６５.５％／女性１４８人・３４.５％）

５．回答者所属企業プロフィール

（従業員数）	１００人未満	５７人	（　１３.３％）
	１００人以上 ５００人未満	２３４人	（　５４.５％）
	５００人以上 1,０００人未満	９６人	（　２２.４％）
	1,０００人以上	４０人	（　９.３％）
	無回答	２人	（　０.５％）
		４２９人	（１００.０％）
（上場区分）	上場企業	１４７人	（　３４.３％）
	非上場企業	２４２人	（　５６.４％）
	企業以外の法人・団体	２８人	（　６.５％）
	無回答	１２人	（　２.８％）
		４２９人	（１００.０％）
（本社所在地）	北海道	０人	（　０.０％）
	東　北	１０人	（　２.３％）
	関　東	３６９人	（　８６.０％）
	中　部	４人	（　０.９％）
	近　畿	３７人	（　８.６％）
	中　国	２人	（　０.５％）
	四　国	０人	（　０％）
	九　州	５人	（　１.２％）
	その他	２人	（　０.５％）
		４２９人	（１００.０％）

２０１９年度　新入社員の会社生活調査

調　査　結　果

１．就職

・就職活動「大変だった」　⇒ 減少傾向に
・就職の結果には「満足」　⇒ ９４％

１－１．就職活動を振り返って

２０１９年度入社の新入社員に就職活動を振り返ってもらったところ（Ｐ．１４／問１）、「かなり大変だった」は２３．６％、「思ったより大変だった」は４４．９％で、合わせて昨年度と同じく６８．５％が“大変だった”と回答しました。「かなり大変だった」は昨年度比－２．９ポイントとなっており、２００９年度以降で最低の割合となりました。就職環境は着実に好転をみせています。

１－２．就職先の満足度

一方、『就職活動の満足度』（Ｐ．１５／問２）については、「たいへん満足」が４７．１％、「やや満足」が４７．１％で合わせて９４．２％が“満足”していると回答しました。この設問は１９９４年度から継続して尋ねており、昨年度過去最高を記録した“満足度”に今年度は０．６ポイント及びませんでしたが、２０１３年度以降はほぼ同様の高い数値で推移しています。

１－３．就職先選び

『就職先を選ぶ際に重視した点』（Ｐ．１６／問３）は、「業種」が最も高く５４．５％、「職務内容」（４９．４％）、「福利厚生」（４５．９％）がトップ３となりました。

トップ３の項目は男女とも同じですが、順位は異なり、男性は「業種」「職務内容」「福利厚生」の順番で、女性は「福利厚生」「職務内容」「業種」の順番でした。

２．キャリア・働き方

・働く上で重要なこと　　「仕事を通じて自分自身が成長すること」　⇒５８％
・働き始めるにあたって不安なこと　「上司・先輩とうまくやっていけるか」⇒６７％
・将来の進路　　「独立して自分の会社を立ち上げる」　⇒２０１３年度以降最高

２－１．働く上で重要なこと

『働く上で重要だと思うこと』（Ｐ．１７／問４）は、「仕事を通じて自分自身が成長すること」（５８．３％）が最も多く、「長期間、安心して働けること」（５４．８％）が続いています。

２０１５年度からの経年で比較すると、「組織や社会に貢献すること」や「職場のメンバーから認められること」、「自分の意思で仕事に取り組めること」が、それぞれ過去最低となっています。

２－２．働き始めるにあたって不安なこと

『働き始めるにあたり、不安に思っていること』（Ｐ．１８／問５）は、「上司・先輩とうまくやっていけるか」（６７．６％）、「自分の能力で仕事をやっていけるか」（６２．７％）が半数を超えています。

２０１５年度からの経年で比較すると、あまり大きな変動はありませんが、昨年度との比較では、「プライベートの時間を確保できるか」を抜いて「心身を壊すことがないか」が３位に浮上しています。

２－３．将来の進路

『将来の進路としてどのような方向を望むか』（Ｐ．１９／問６）については、「管理職」が４３．４％、「担当業務のエキスパート」が４６．２％と拮抗しています。昨年度は「管理職」が１．８ポイント上回っていました。

経年で見ると、「独立して自分の会社を立ち上げる」が８．２％で、２０１３年度以降では一番多くなっています。

・目標とする地位　　「地位には関心がない」　　⇒直近１０年で最多
・１か月に許容できる残業時間　　「３０時間まで」　　⇒７４％
・転勤について　「一度も転勤せずに同じ場所で働き続けたい」　⇒過去最多３６％

２－４．目標とする地位

『目標とする役職・地位』（Ｐ．２０／問７）については、「社長」（１０．８％／昨年度比－０．２ポイント）、「役員」（１５．３％／昨年度比－２．５ポイント）、「部長クラス」（１９．８％／昨年度比－１．１ポイント）、「課長クラス」（７．５％／昨年度比－２．８ポイント）、「係長クラス」（３．８％／昨年度比＋１．６ポイント）となり、係長を除いて役職志向が軒並み低下しています。

一方、「地位には関心がない」（４２．７％／昨年度比＋４．９ポイント）は、この１０年で最も多くなっています。

２－５．許容できる残業時間

『１か月の残業時間は、何時間程度許容できるか』（Ｐ．２１／問８）について、時間単位で選択してもらいました。その結果、「１１～２０時間」（２７．５％）が最も多く、「２１時間～３０時間」（２７．０％）が続きます。

また、２０１７年度からの経年比較で見ると、「１～１０時間」（１８．３％）が昨年度を５．９ポイント上回り、過去最高となりました。

２－６．転勤について

『転勤についてどのように考えているか』（Ｐ．２２／問９）については、「一度も転勤せずに同じ場所で働き続けたい」（３６．４％）が最も多く、「転居を伴う場合でも期間が限定されていれば転勤してもよい」が２３．７％で続き、昨年度から順位が逆転しています。

続いて「転居の有無、期間に関係なく転勤してもよい」が２１．６％、「転居を伴わないのであれば転勤してもよい」が１８．３％となりました。

最も多かった「一度も転勤せずに同じ場所で働き続けたい」は昨年度よりも９．４ポイント増加し、“転勤ＮＧ”が増えています。

・各種制度　　「利用したい」　⇒副業 ６４％／テレワーク ６６％／時差出勤 ８３％

２－７．各種制度

『会社に次の制度があった場合、どの程度利用したいか』（Ｐ．２３／問１０）として、『A.副業』、『B.テレワーク』、そして『C.時差出勤』の３項目を昨年度に続き質問しました。

『A.副業』は全体の３１．５％が「利用したい」、３２．５％が「どちらかといえば利用したい」で、合わせて６４．０％となり、昨年度から７．４ポイント増加しています。副業が可能ならばその制度を利用することに対し、さらに前向きな姿勢になっていることがわかりました。

『B.テレワーク』については、「利用したい」（３５．２％）と「どちらかいえば利用したい」（３１．１％）を合わせた６６．３％が“利用したい”とし、昨年度から０．５ポイント増でほぼ同率ですが、「利用したい」とするのが３．９ポイント増えています。

『C.時差出勤』については、「利用したい」（５３．８％）、「どちらかといえば利用したい」（２９．６％）と合わせて８３．４％が“利用したい”としています。

・業務時間外の勉強　　「勉強したい」　⇒８５％
・勉強したい理由　　「ビジネススキルを磨きたいから」　⇒５６％

２－８．業務時間外での勉強

『業務時間外で勉強（セミナー、通信教員、学校、自習など）したいと思いますか』（Ｐ．２４／問１１）は、８４．９％が“勉強したい”としています。「費用が全額自己負担でも勉強したい」とする積極的な新入社員は１３．６％でした。

また、問１１で費用の援助の有る無しにかかわらず「勉強したい」とする回答者に『どのような理由でそう思うか』（Ｐ．２５／問１２）を質問したところ、「ビジネススキルを磨きたいから」が５５．７％でした。次いで「教養を深めたいから」（５２．９％）、「担当業務や業界の知識を得たいから」（５２．６％）と続きます。

さらに「勉強したい」とする回答者に『勉強はいつしたいと思いますか』（Ｐ．２５／問１３）を質問したところ、「退勤後(夜活など)」が６６．５％、「休日」が５６．８％でした。

３．待遇・雇用制度

・いつまで働きたいか　　「６０歳」　⇒４３％
・退職後には「趣味の時間を楽しむ」　⇒７４％
・公的年金（国民年金・厚生年金等）は「期待していない」　⇒６ポイント増の６８％
・３５歳時点の理想の年収額は、昨年度比７万円減で６０８万円

３－１．定年

先ごろ政府から、希望する人が７０歳まで働き続けられる就業機会を確保するための法改正を目指すと発表されましたが、『いつまでサラリーマンとして働きたいか』（Ｐ．２６／問１４）を尋ねたところ、「６０歳」と回答した人が全体の４３．１％（昨年度比＋０．５ポイント）で最多となりました。６０歳を過ぎても働きたいと回答したのは３２．７％となり昨年度より１．５ポイント減少しました。一方、「５０代(早期優遇退職)」が１０．１％で昨年度比１．３ポイント増加しています。また「定年なし」も昨年度比２．７ポイント増の９．９％になりました。

３－２．退職後

『前問の年代で退職したのちにやりたいことは』（Ｐ．２７／問１５）を聞くと「趣味の時間を楽しむ」が７４．１％で最も多くなっています。昨年度よりも減少している項目が多い中、「個人で起業」が３．８ポイント増の１２．４％となっています。

３－３．公的年金

『将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待しているか』（Ｐ．２８／問１６）を尋ねたところ、「期待していない」と「どちらかといえば期待していない」を合わせると６８．３％（昨年度比＋６．１ポイント）が“期待していない”としています。

３－４．人事制度

『年功序列と成果主義のどちらを望むか』（Ｐ．２９／問１７）を二者択一で尋ねた結果、「成果主義」が５６．４％、「年功序列」が４３．６％となりました。

また、『終身雇用制度を望むか』（Ｐ．３０／問１８）では、「望む」が６４．０％、「望まない」が３６．０％となりました。「望まない」とする回答は、過去最低だった２０１４年度（２３．７％）からは次第に増えてきています。

３－５．理想の年収額

『３５歳時点での理想の年収額』（Ｐ．３１／問１９）について、加重平均値を算出したところ、全体では「６０８万円（6,０８４,３５２円)」で、昨年度からは約７万円減りました。

４．情報機器・ＳＮＳの利用

・メッセージアプリを業務で　「使用したい」　⇒６２％
・上司からの友達申請　男性は“嬉しい”　⇒５４％
女性は“嫌だ”　⇒６３％

４－１．メッセージアプリの業務使用

『ＬＩＮＥなどのメッセージアプリを業務でも使用したいか』（Ｐ．３２／問２０）を尋ねると、「使用したい」が６２．２％、「使用したくない」が３７．８％となりした。使用したいとする新入社員が昨年度に比べて１１．５ポイント増となりました。

４－２．上司からのＳＮＳ“友達申請”（リクエスト）

『上司からＳＮＳで“友達申請”（リクエスト）があったらどう思うか』（Ｐ．３３／問２１）という問いには、「嬉しい」が１５．８％、「どちらからといえば嬉しい」が３２．３％で、あわせて４８．１％(昨年度比＋４．７ポイント)となりました。

ただし男女差があり、女性は「どちらかといえば嫌だ」が４０．０％、「嫌だ」は２３．４％と、合わせて６３．４％が“嫌だ”と答えています。

“嬉しい”(「嬉しい」＋「どちらかといえば嬉しい」)、“嫌だ”(「嫌だ」＋「どちらかといえば嫌だ」)とする回答者それぞれに理由を尋ねました。

『“嬉しい”と思う理由』（Ｐ３４／問２２）は、「仕事以外で接点を持てるから」（３８．１％)が最多で、「信頼されていると思うから」（３１．７％)、「業務連絡等に使えるから」（２２．８％）と続いています。

この調査は２０１４年度から始まっていますが、「信頼されていると思うから」は毎年増加しています。

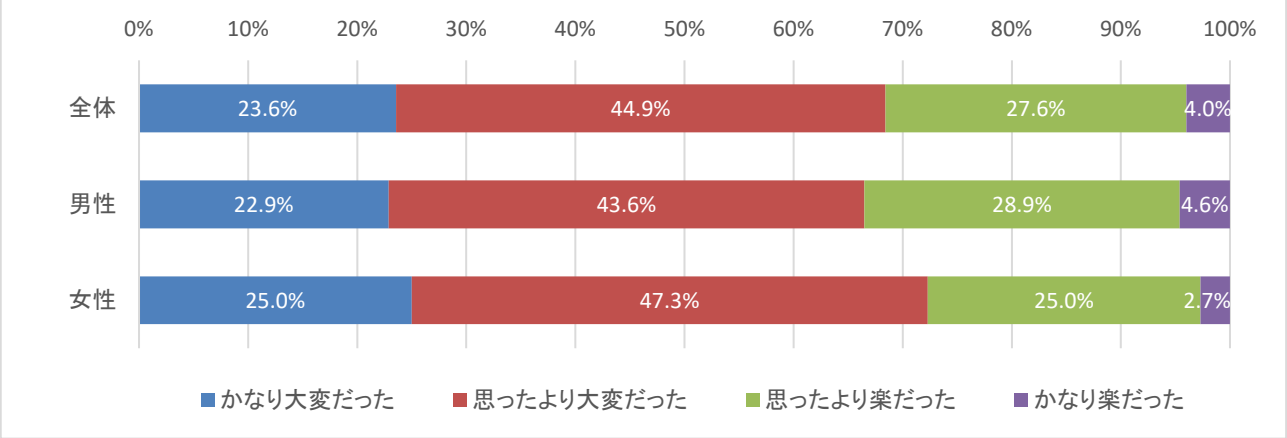
一方、『“嫌だ”と思う理由』（Ｐ３５／問２３）では、「公私は分けたいから」（７１．８％)が最も多くなっています。また割合として多くはありませんが、「他の上司の申請を断れなくなるから」が７．９％と過去最高となりました。

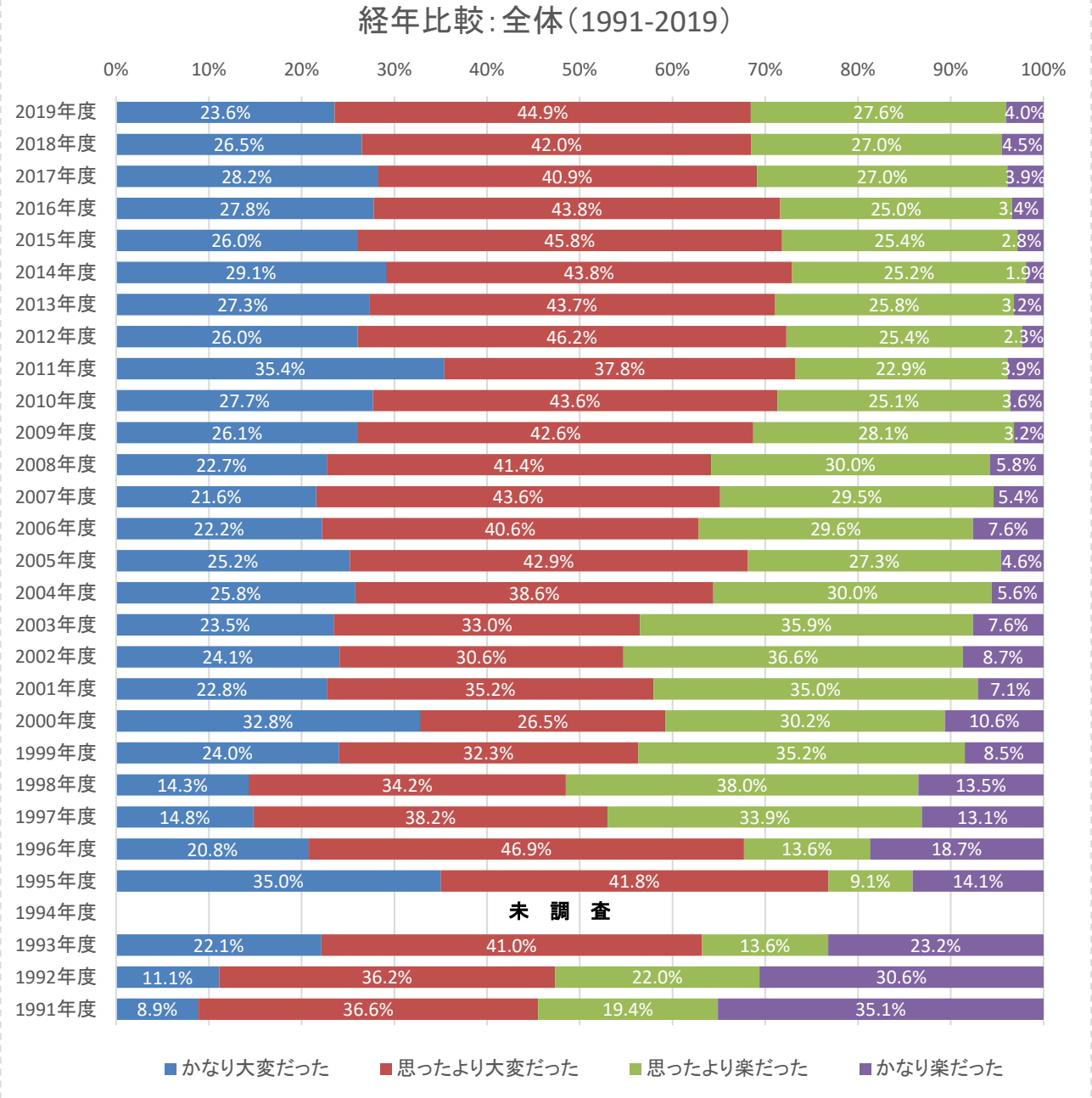
２０１９年度　新入社員の会社生活調査

デ ー タ 集

問１．　就職活動を振り返って、どのように感じましたか？

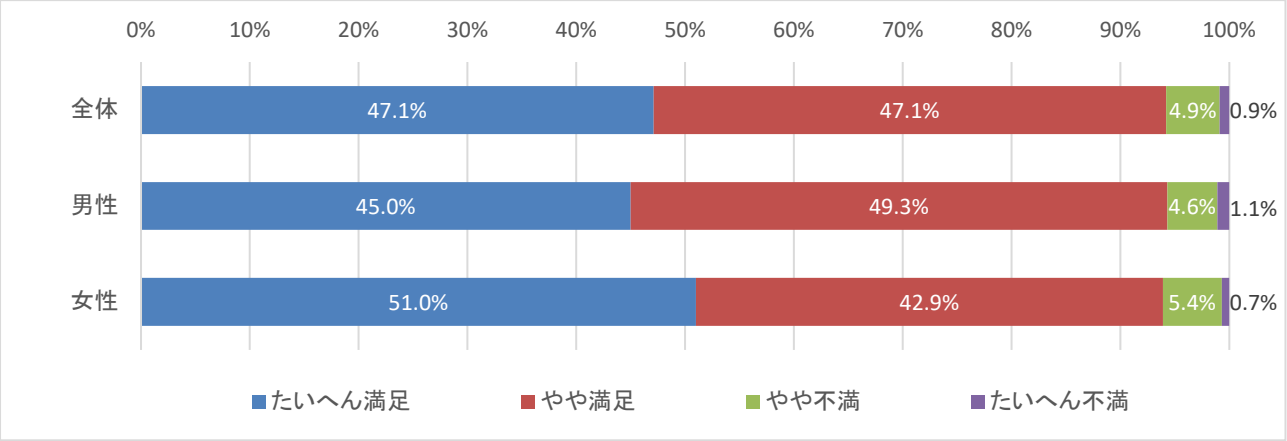
（n=428）

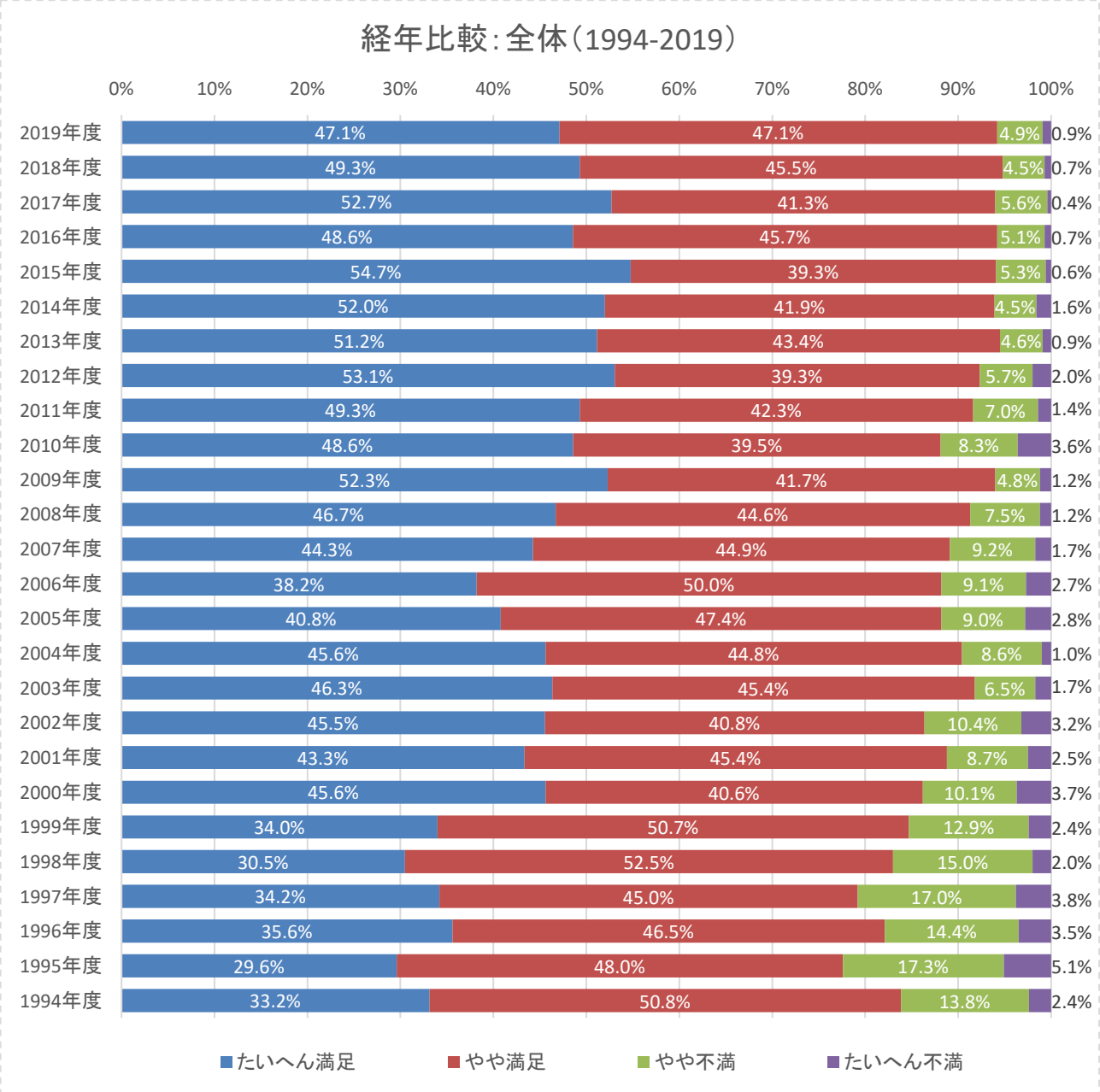




問２．就職活動の結果に満足していますか？

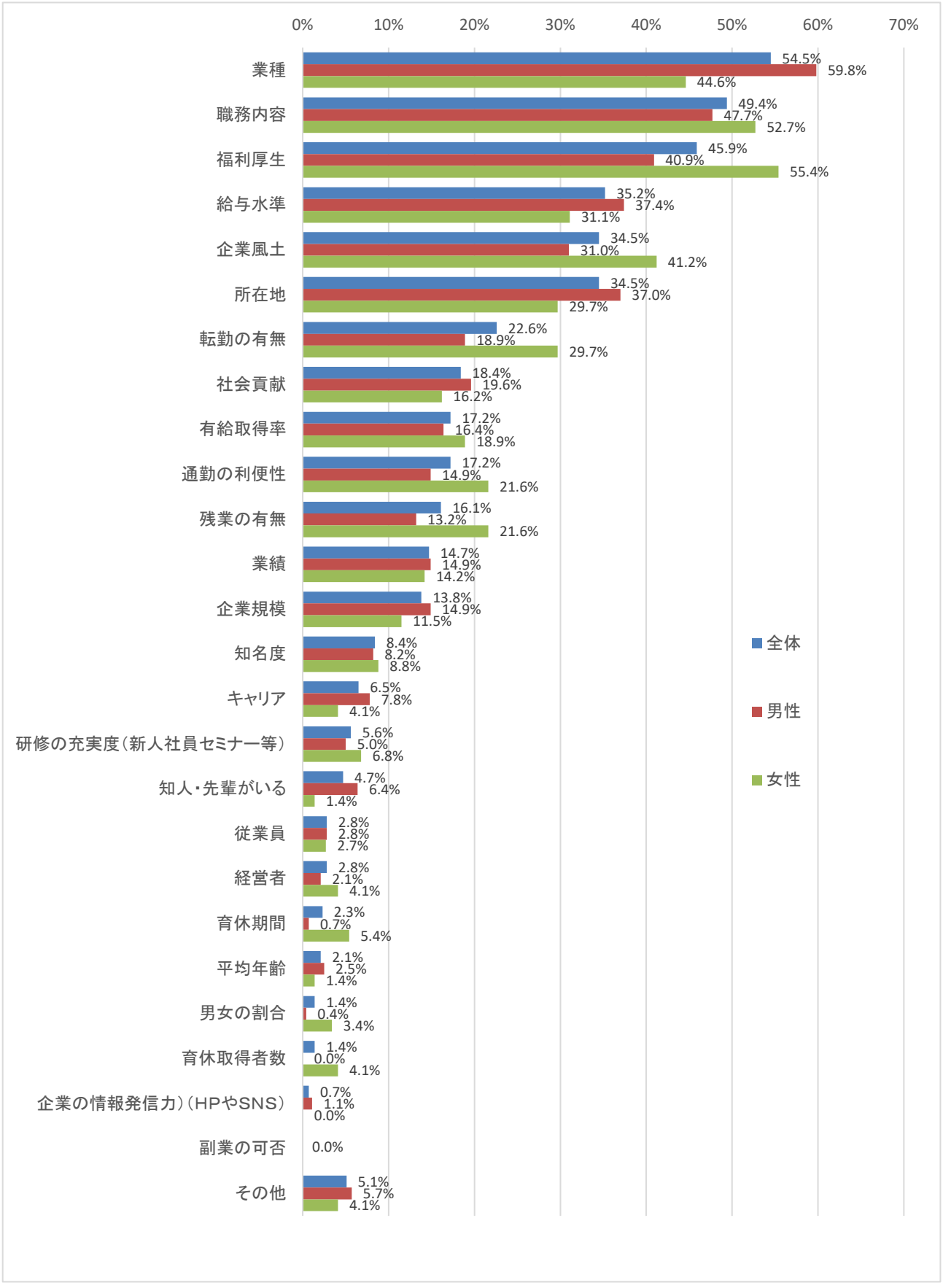
（n=427）



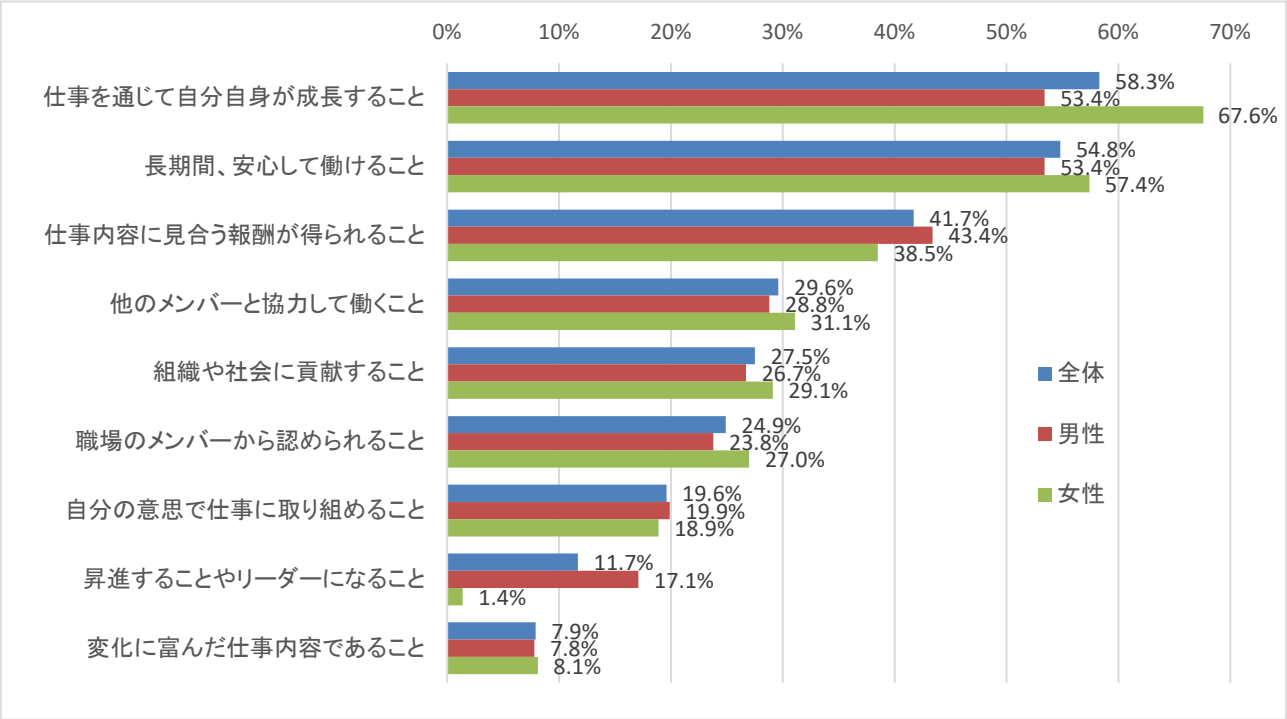


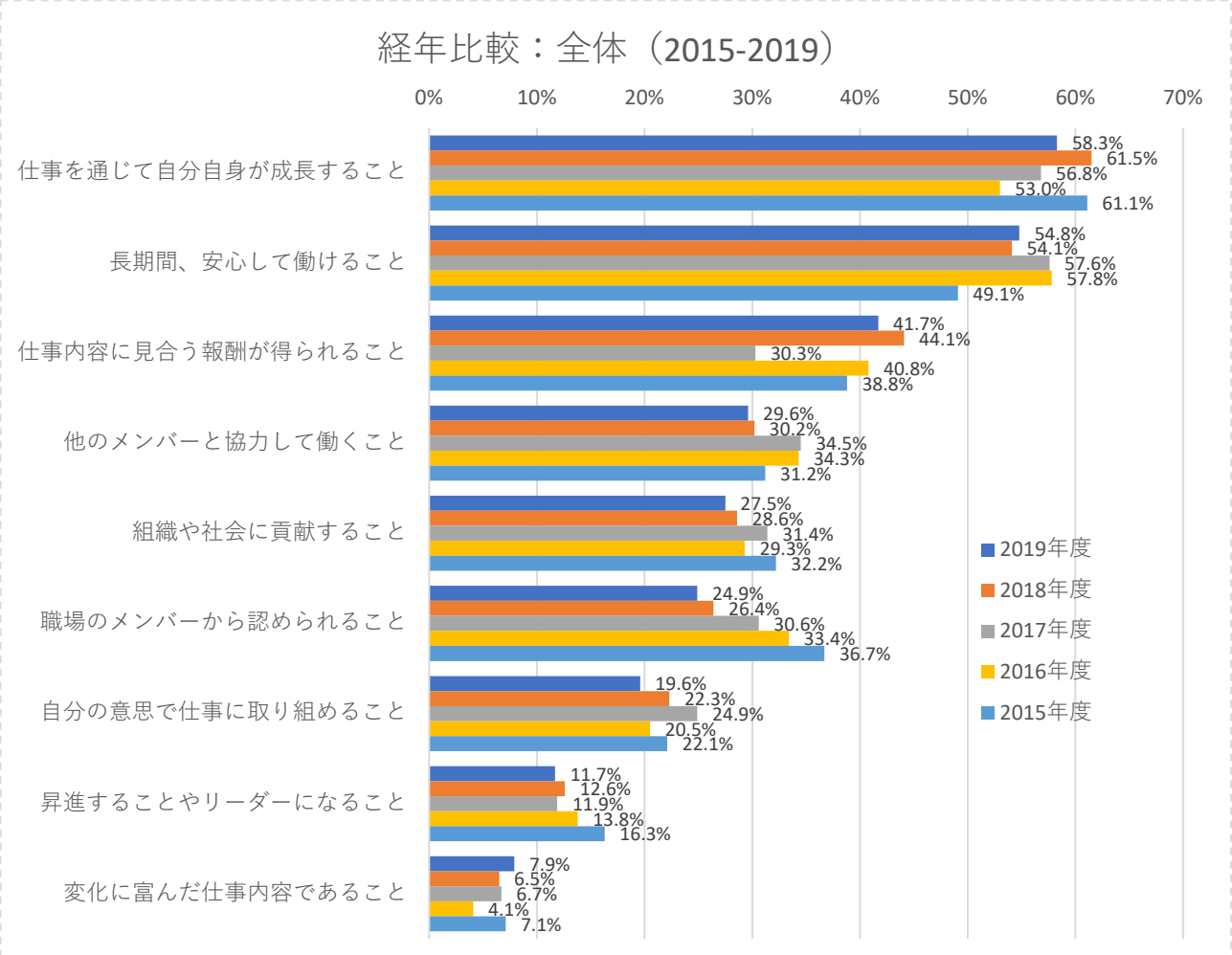
問３．就職先を選ぶ際に重視した点は何ですか？（５つまで選択）

（n=429）



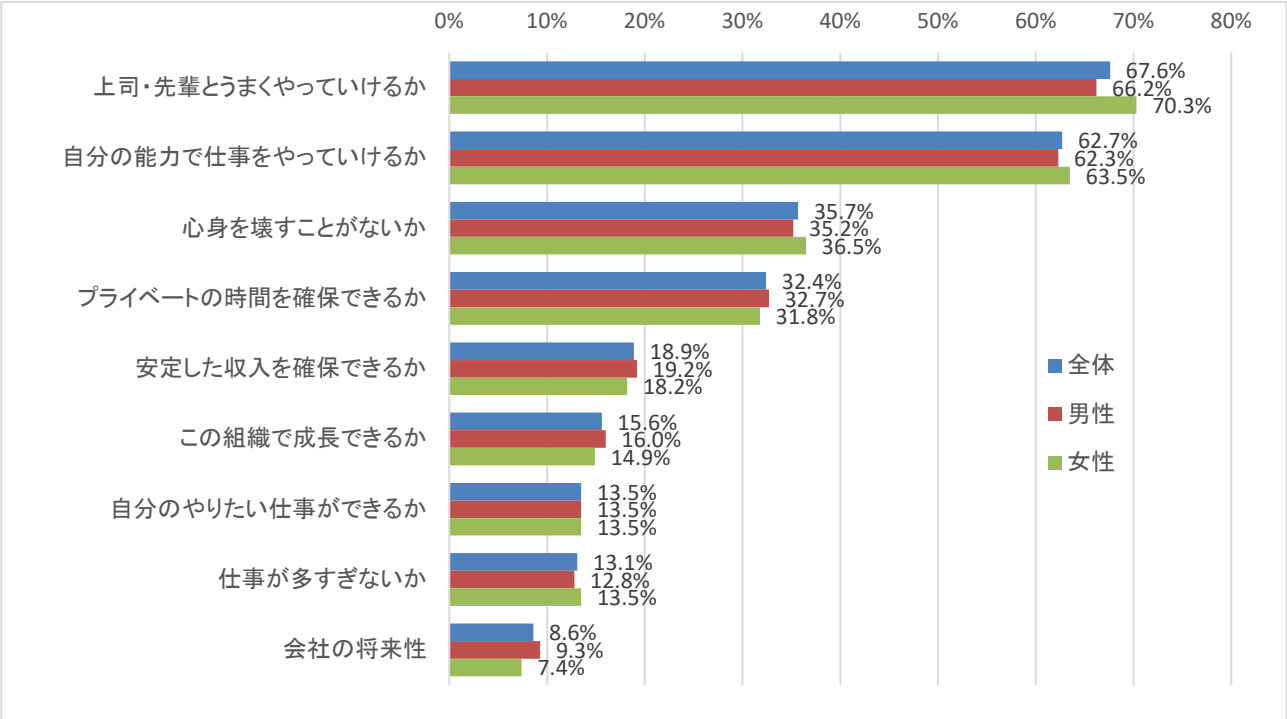
問４．あなたは「働く」上で、どのようなことが自分にとって重要だと感じますか？（３つまで選択）
（n=429）

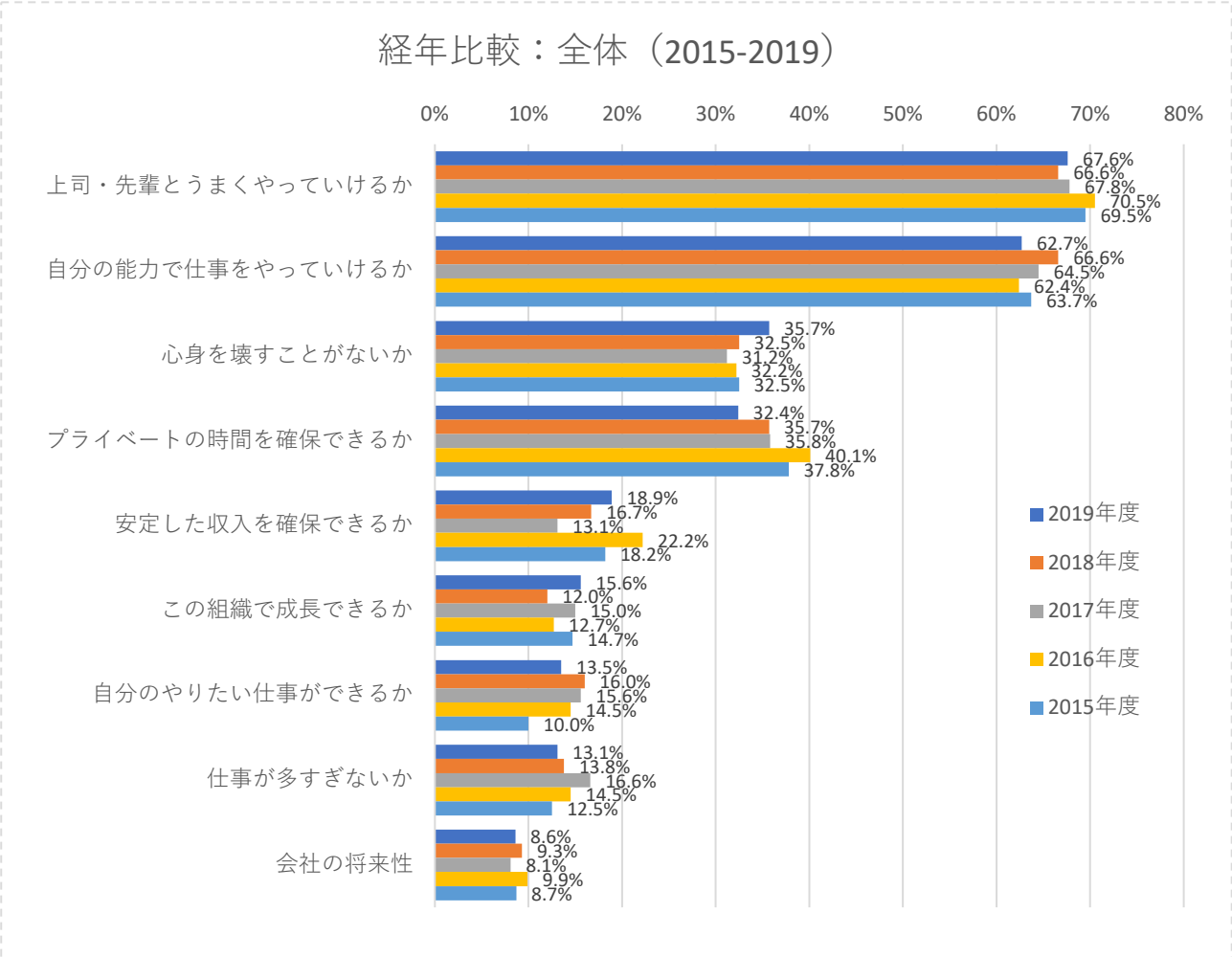




問５．働き始めるにあたって、不安に思っていることは何ですか？（３つまで選択）

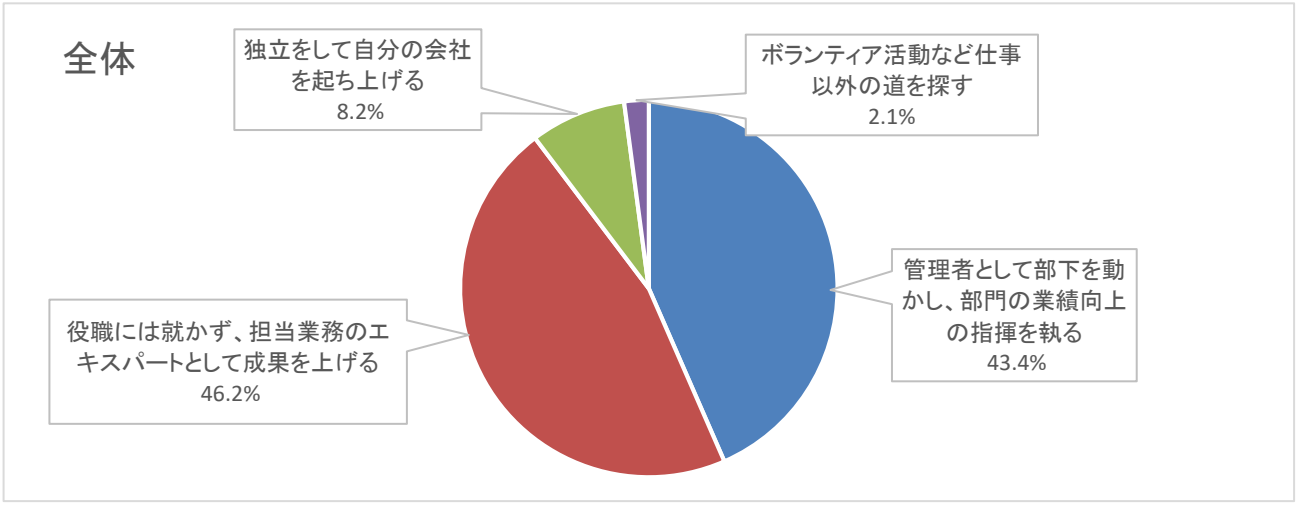
（n=429）

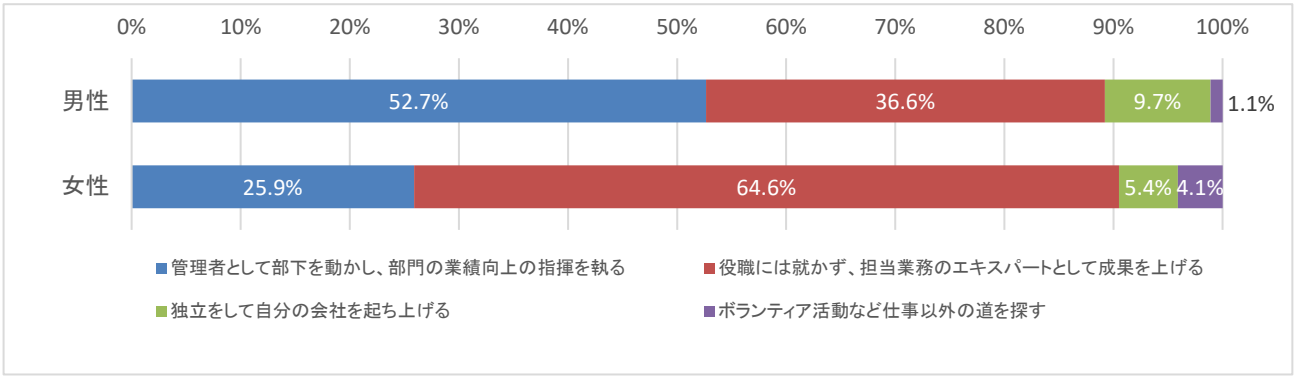


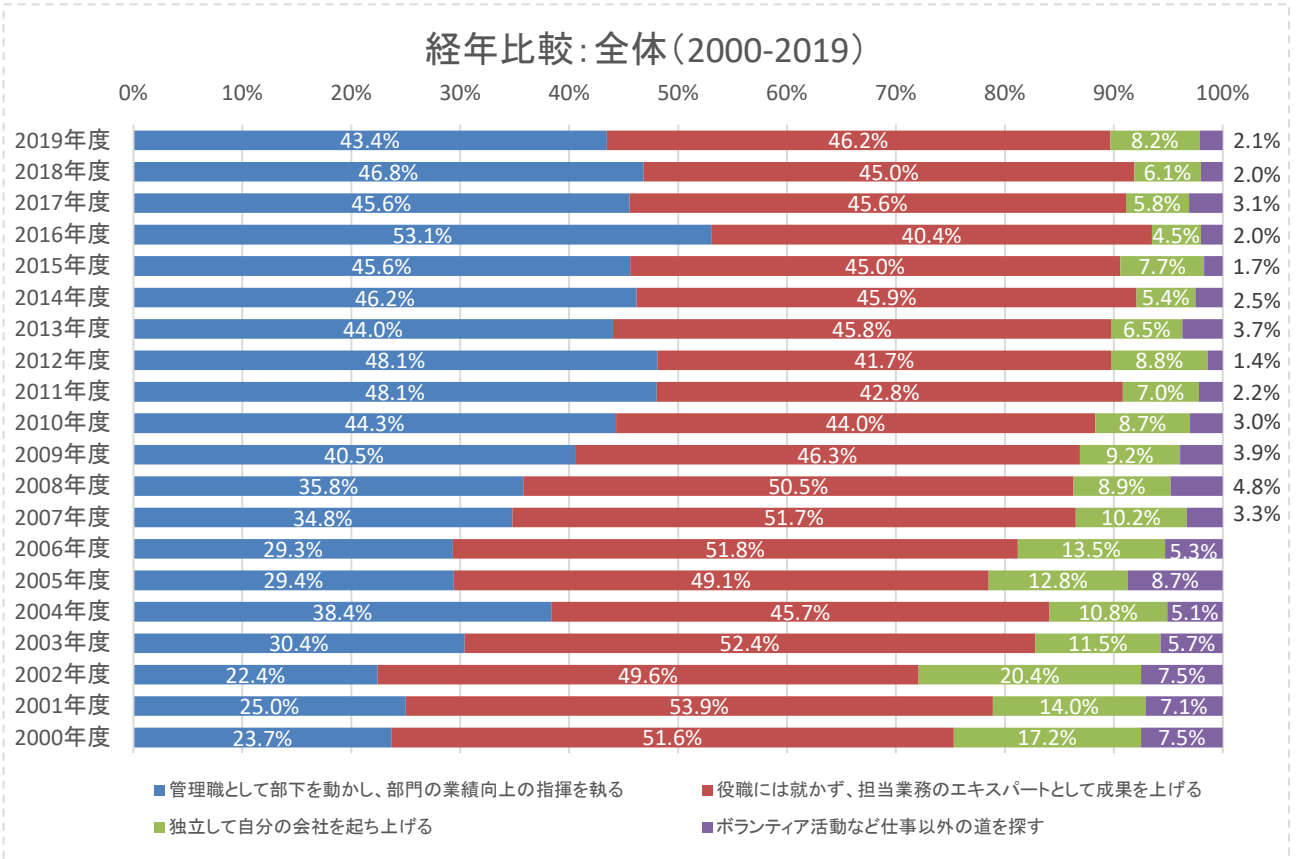


問６．将来の進路としてどのような方向を望みますか？

（n=426）

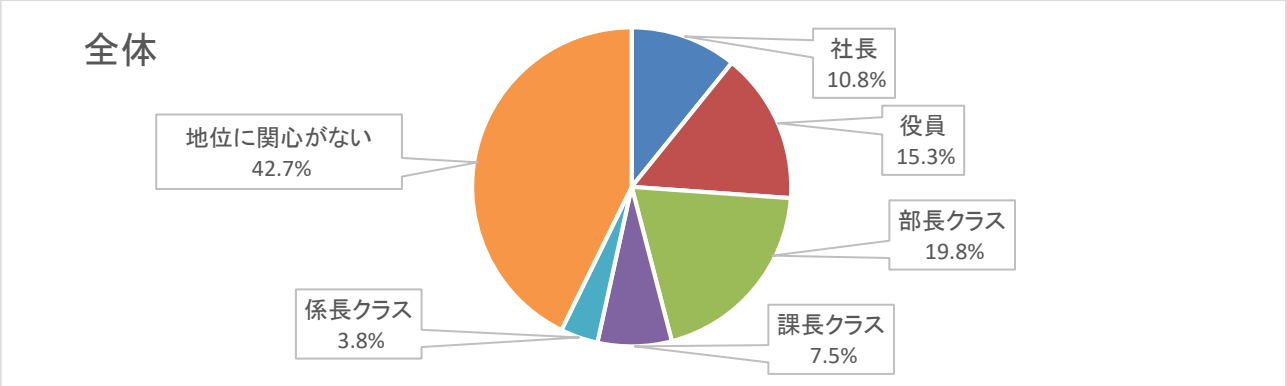


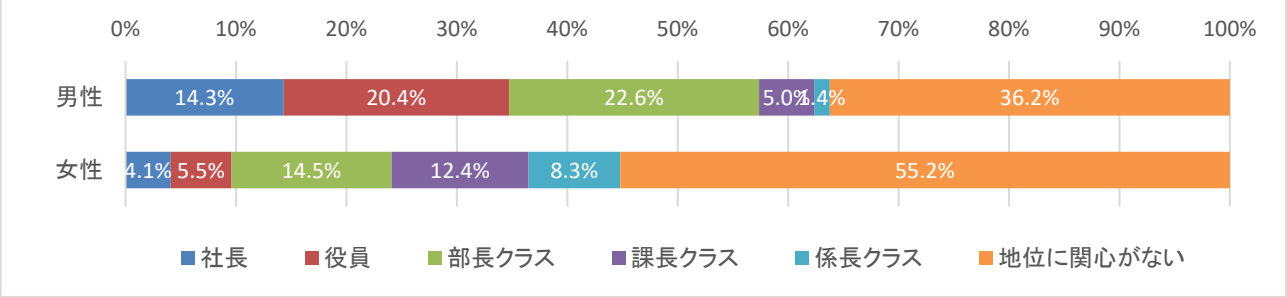


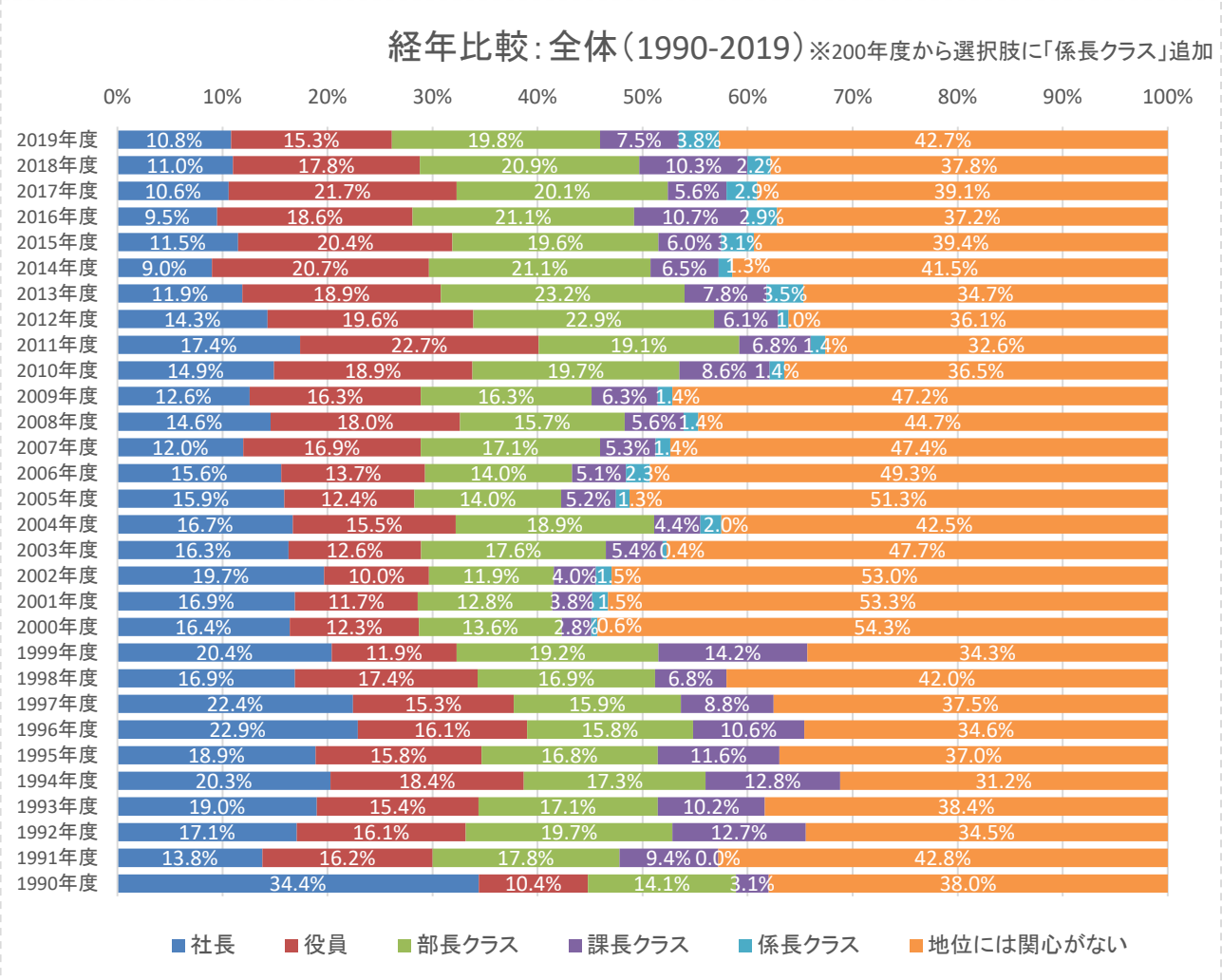


問７. あなたが目標とする役職・地位は？

（n=424）

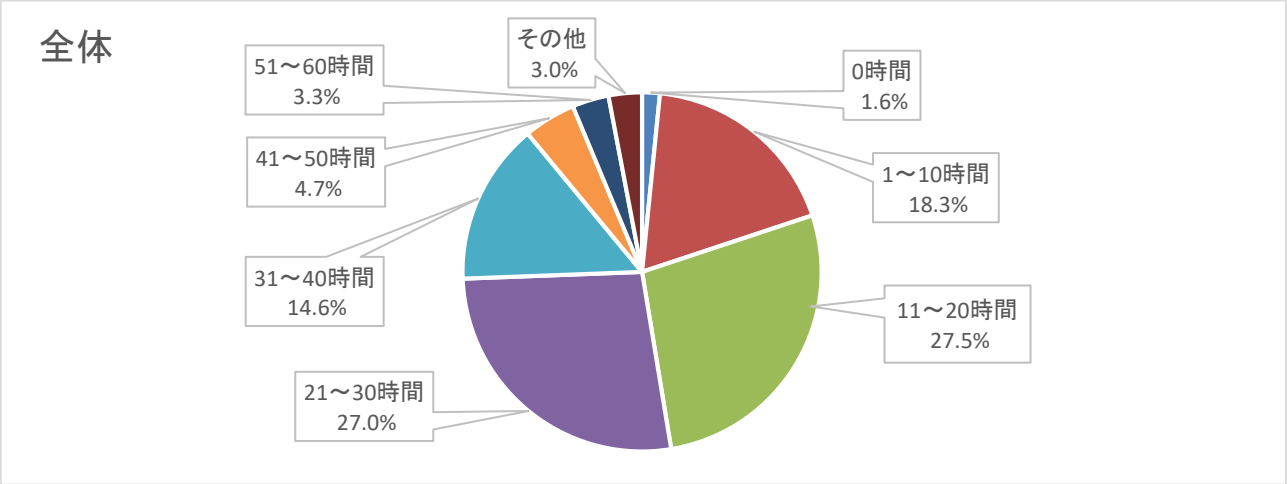


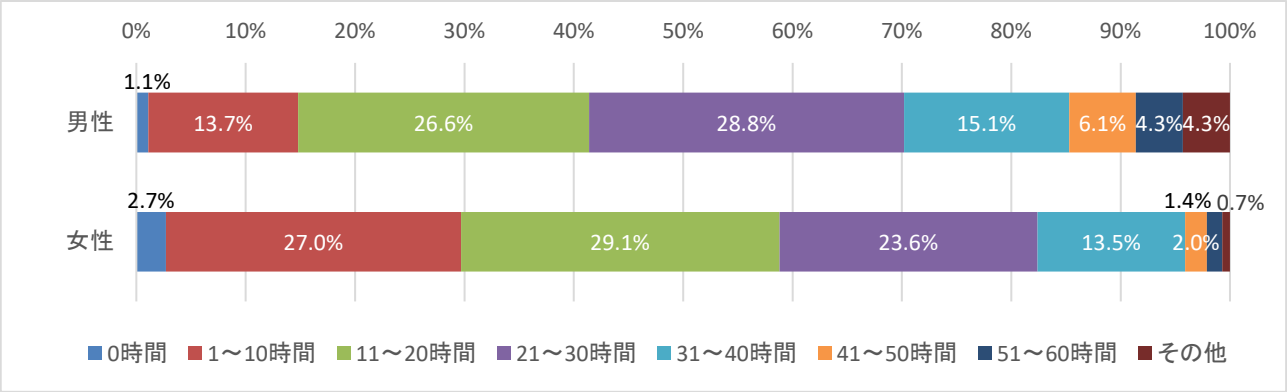


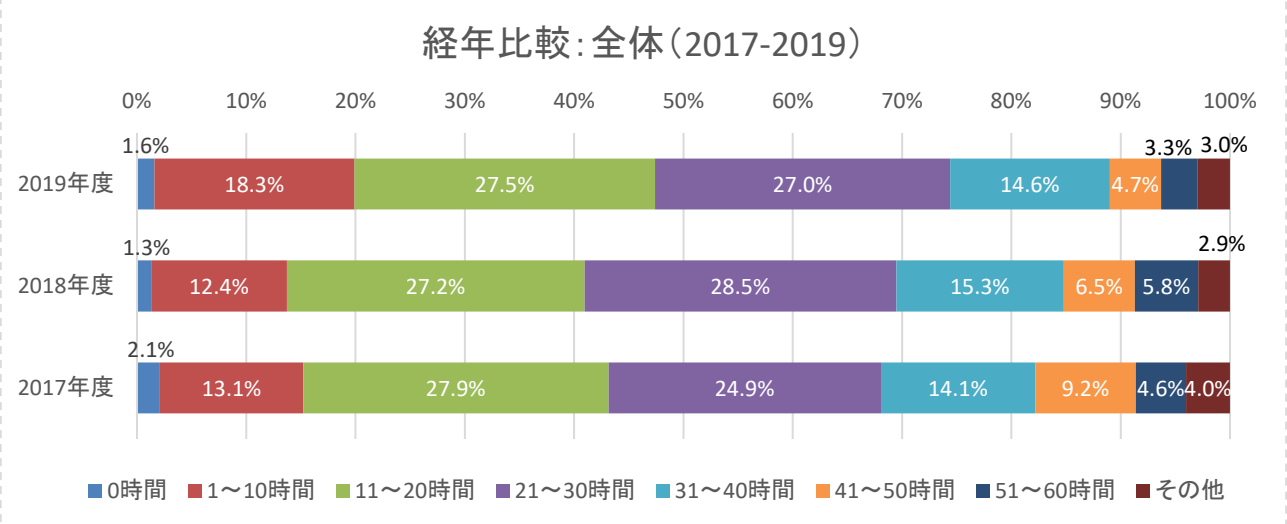


問８．１か月の残業時間について、あなたは何時間程度なら許容できますか？

（n=426）

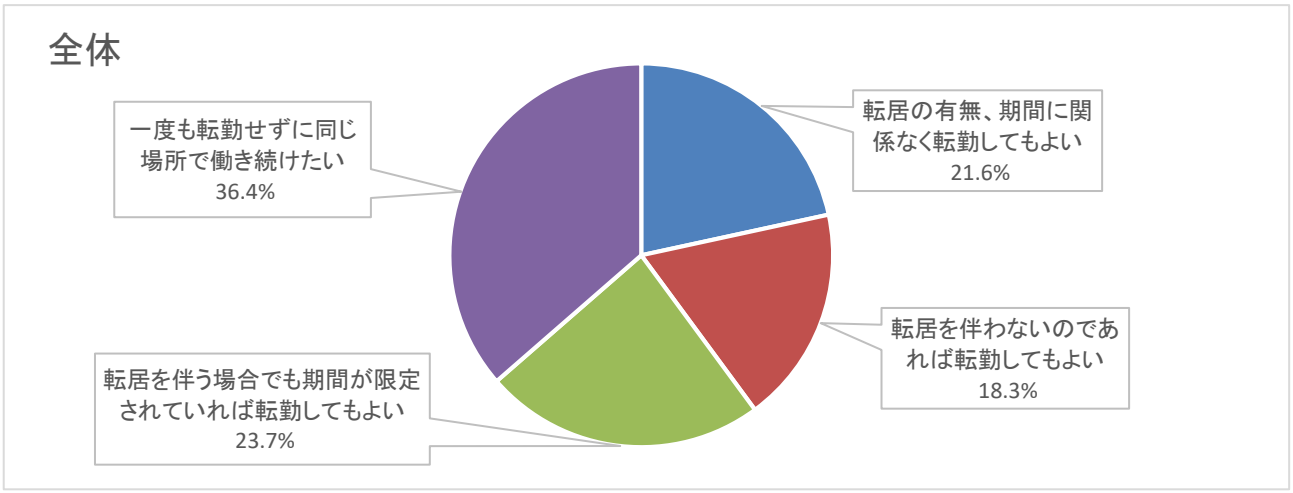


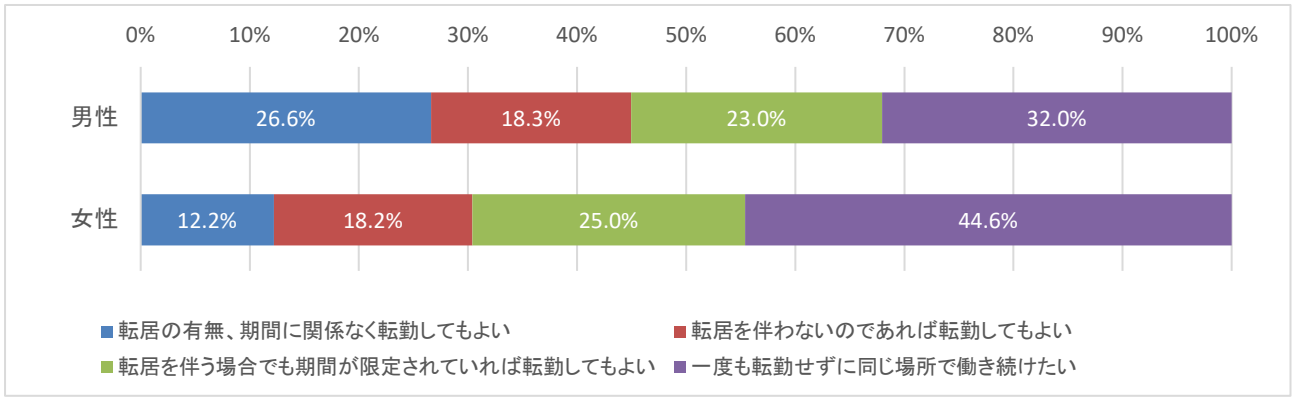


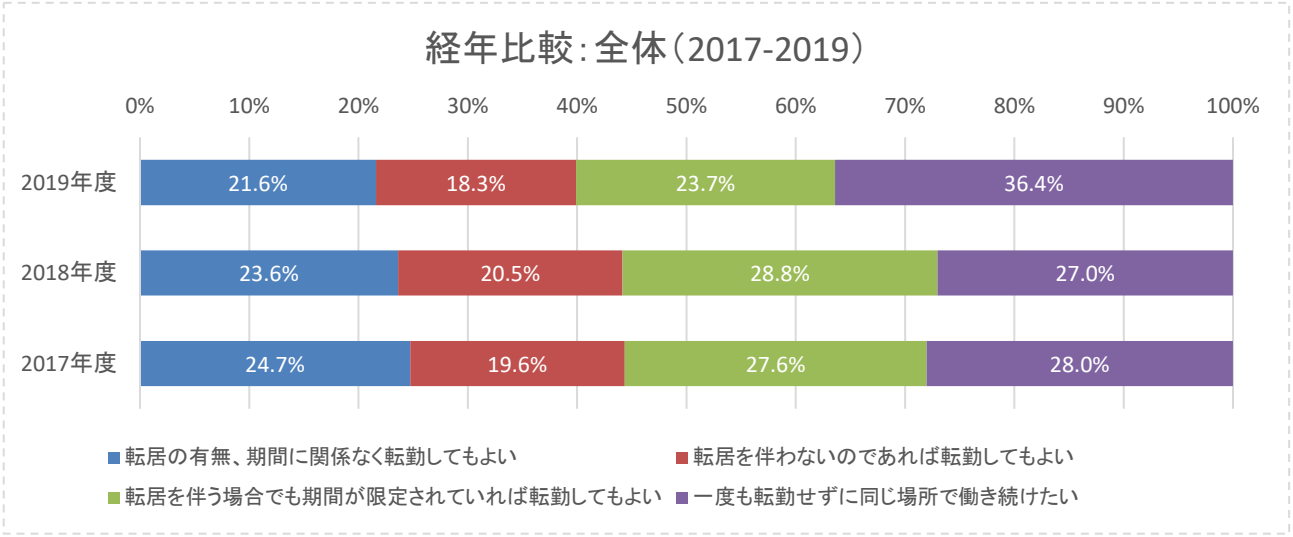


問９．あなたは「転勤」についてどのように考えていますか？

（n=426）

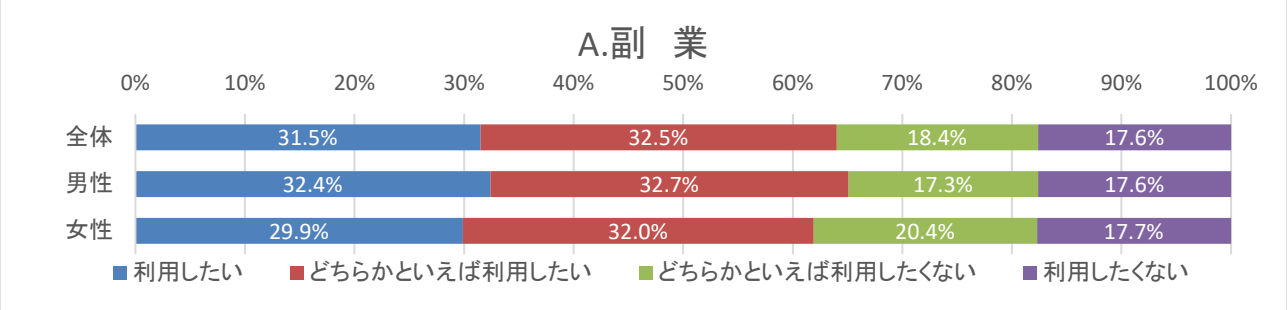


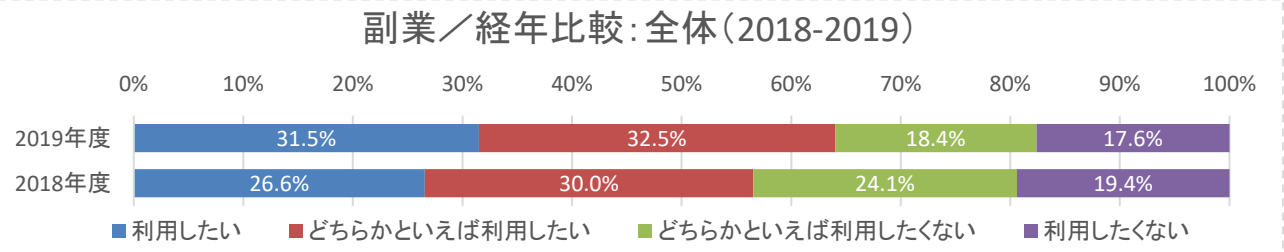


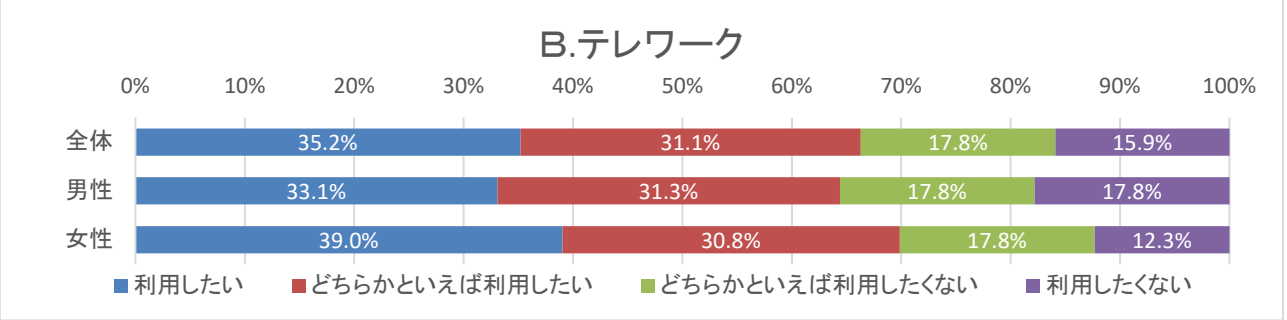


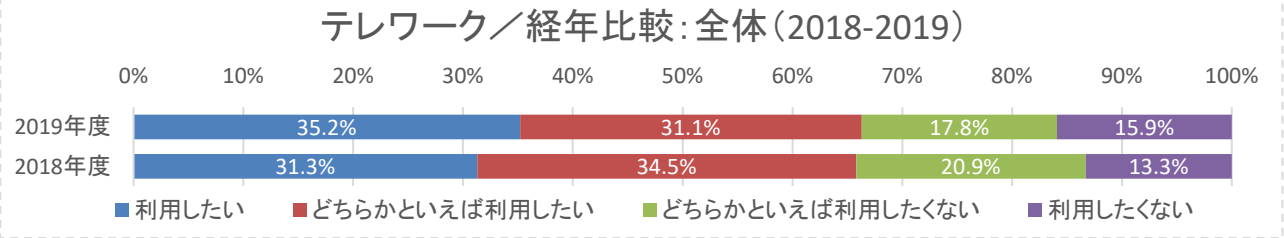
問１０．会社に以下の制度があった場合、どの程度利用したいと思いますか？

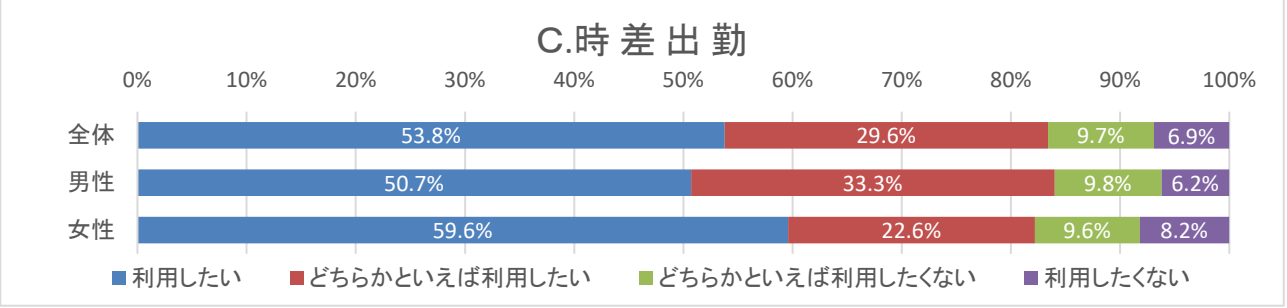
(A/n=425) (B/n=421) (C/n=422)

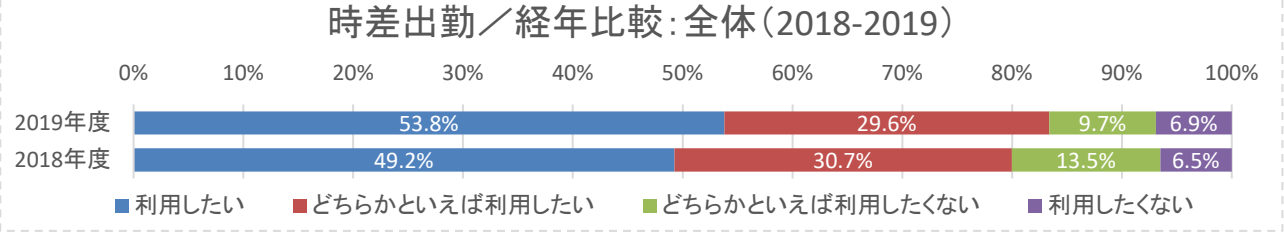




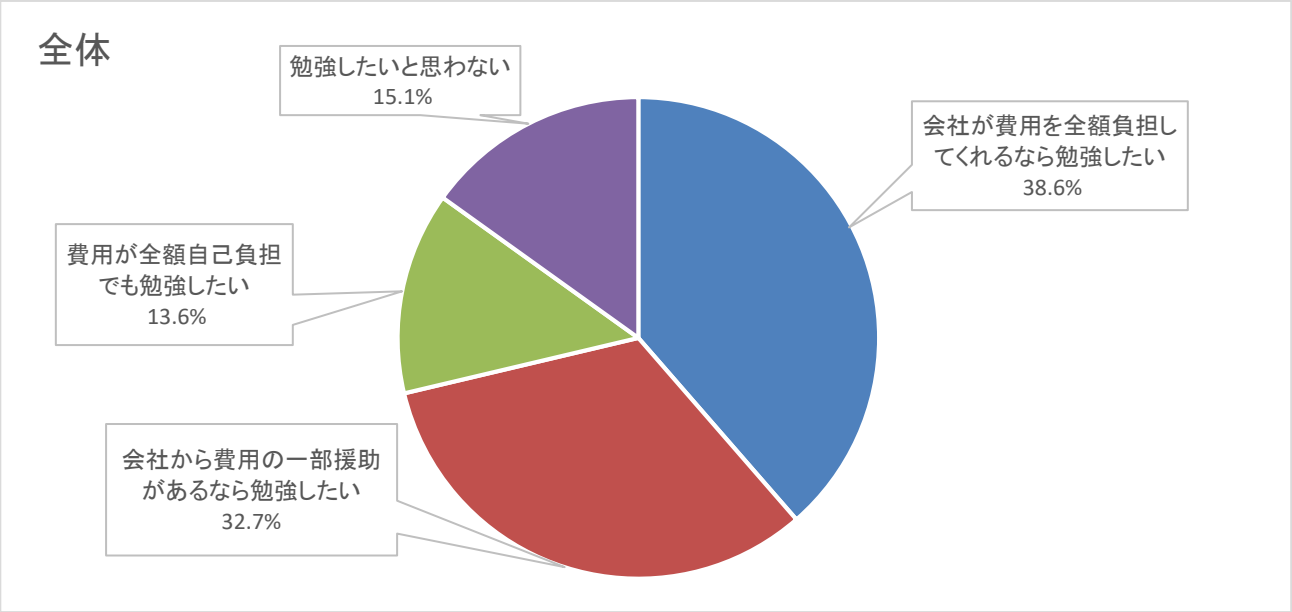


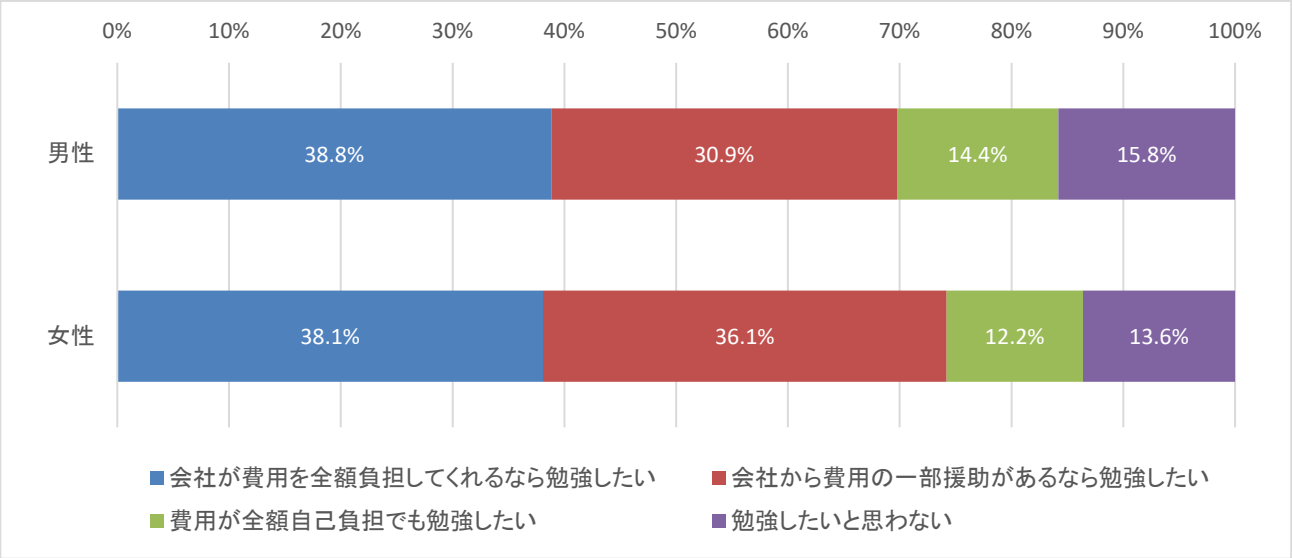






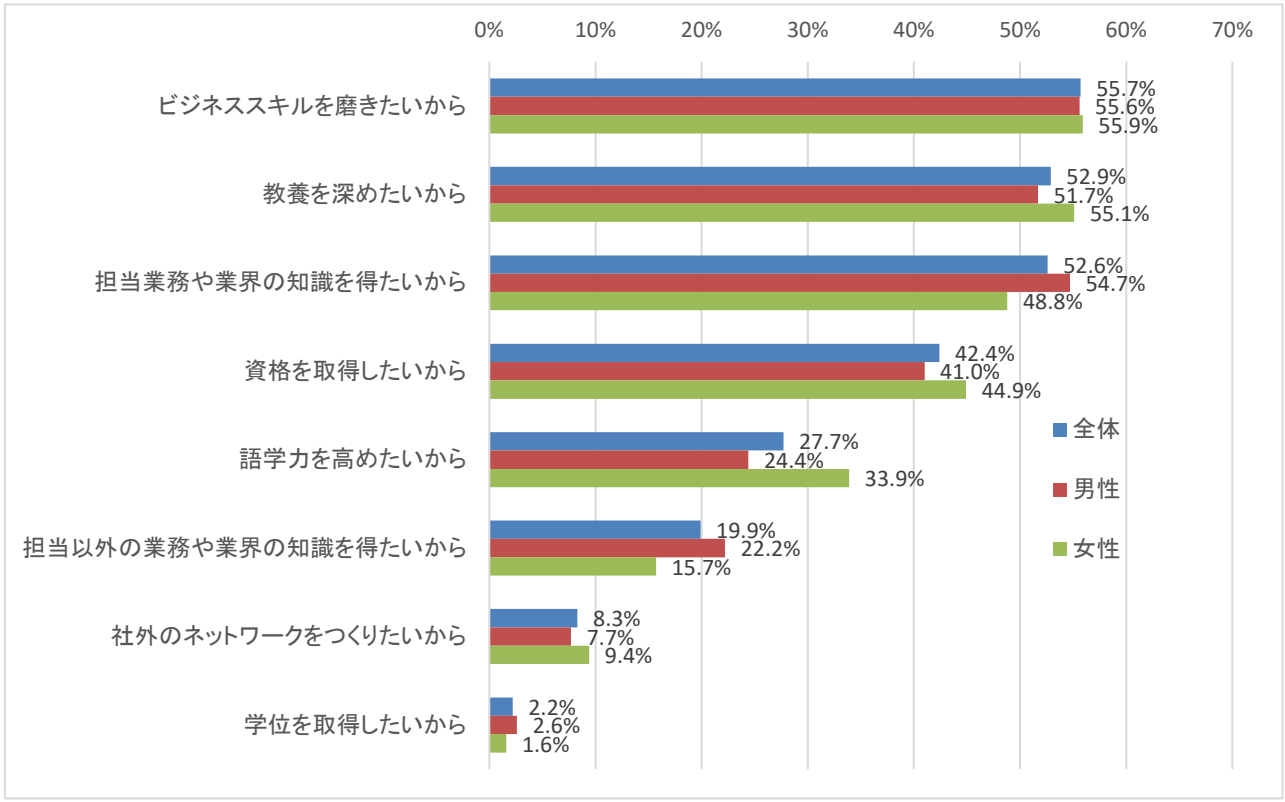
問１１．業務時間外で勉強（セミナー、通信教育、学校、自習など）したいと思いますか？
（n=425）





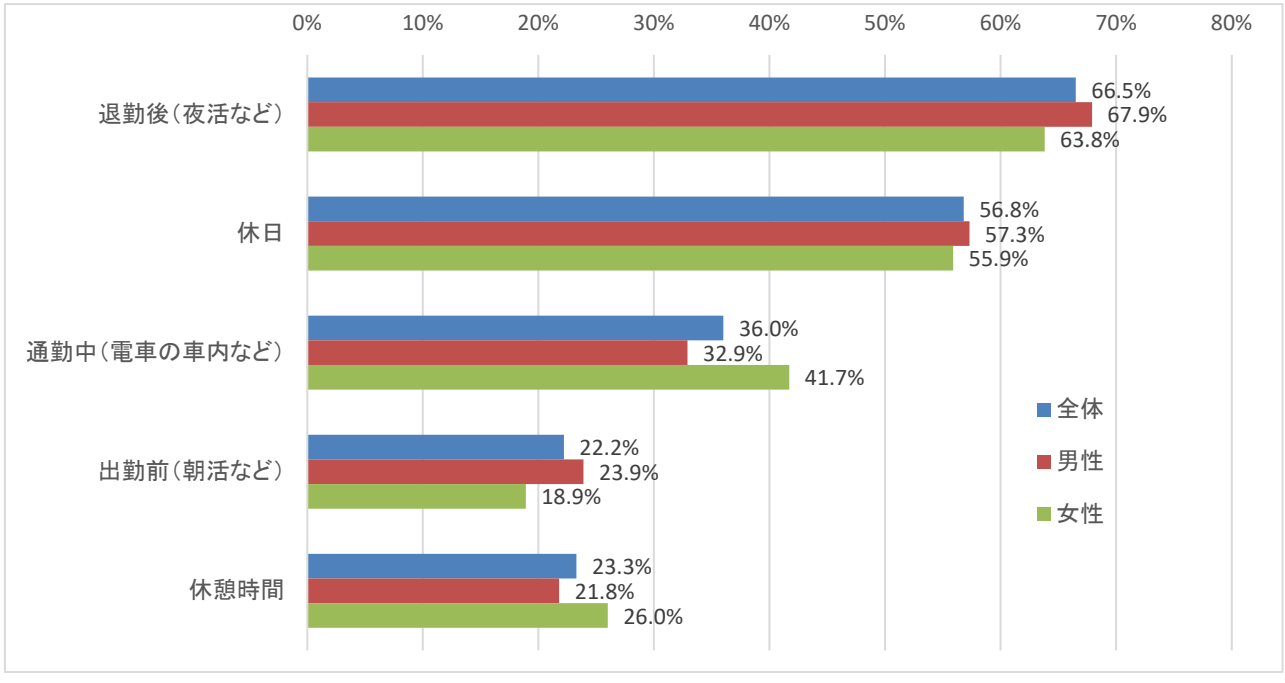
問１２.【問１１で１、２、３のいずれかに回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

（n=361）



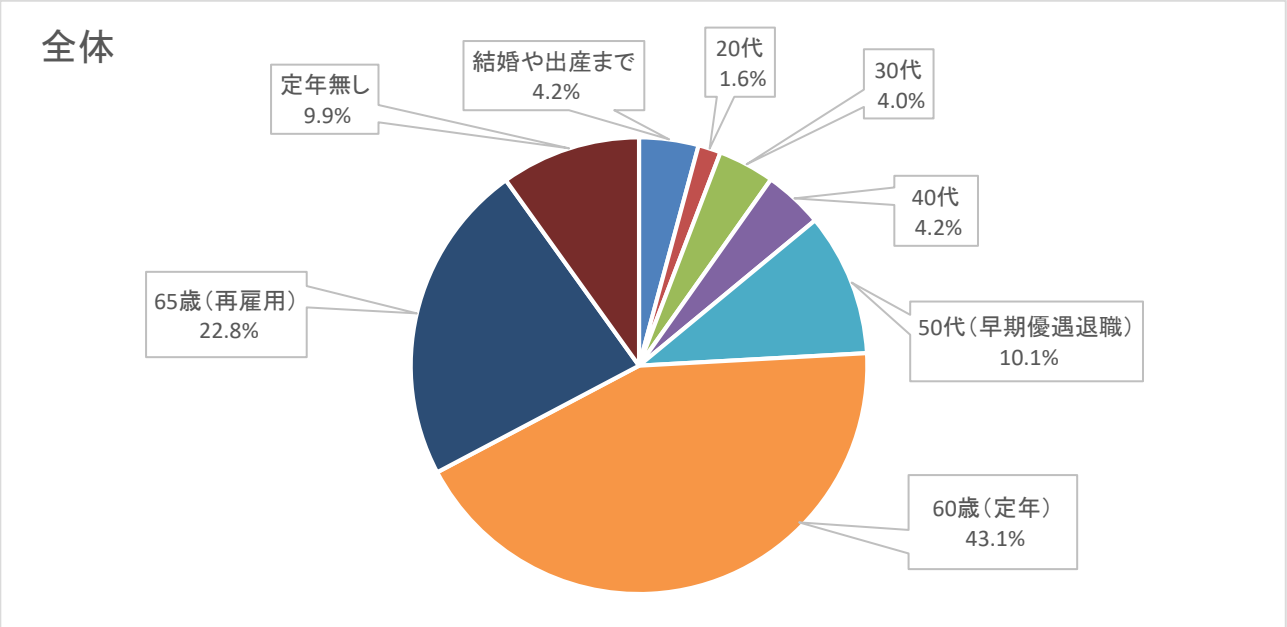
問１３.【問１１で１、２、３のいずれかに回答した方へ】勉強はいつしたいと思いますか？

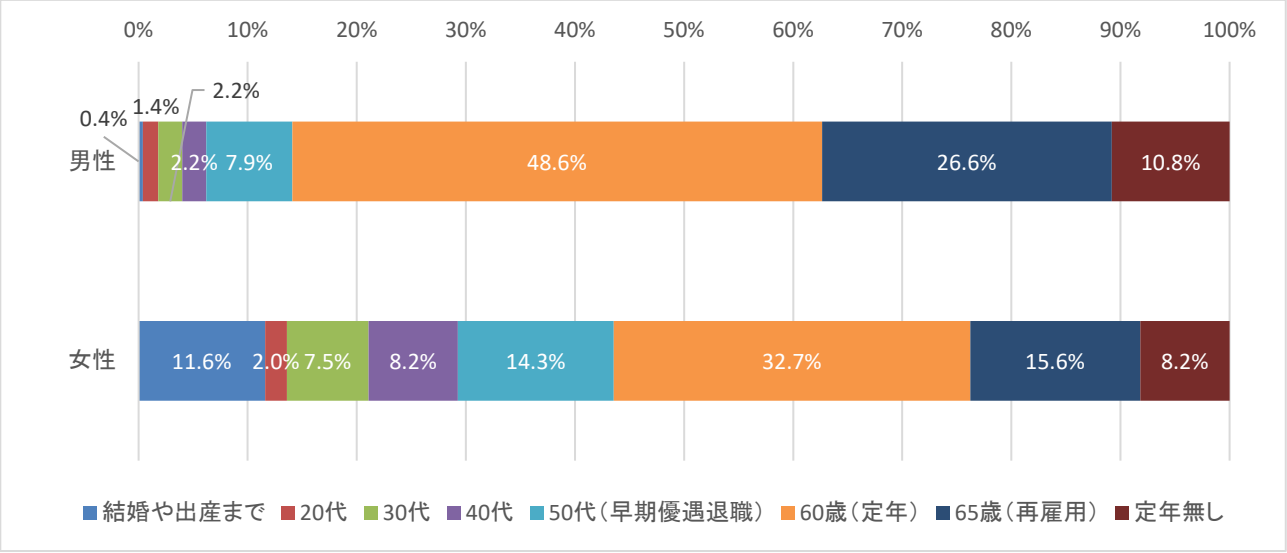
（n=361）

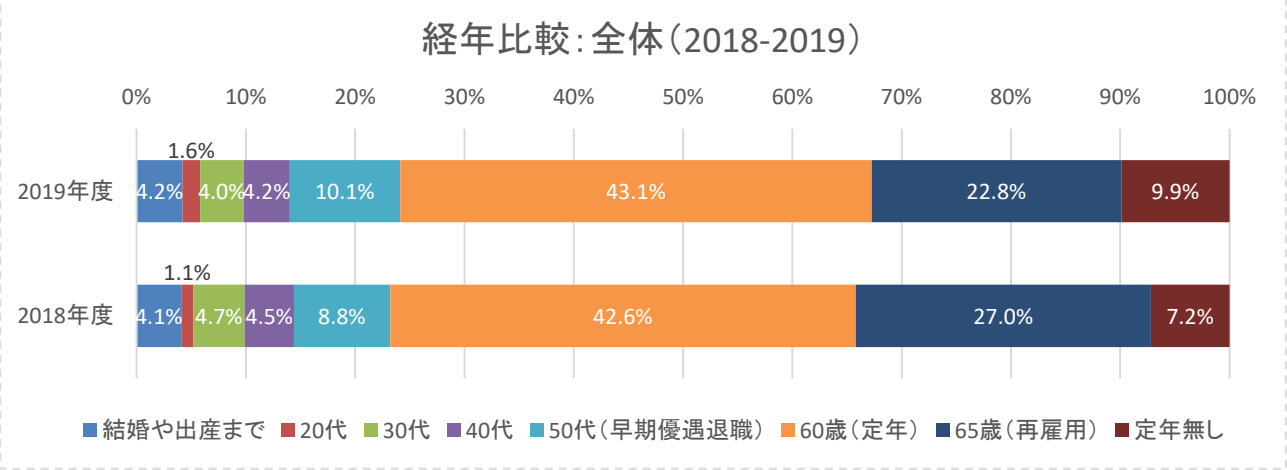


問１４．“人生１００年時代”と言われている中で、あなたはいつまでサラリーマンとして働きたいと思いますか？

（n=425）

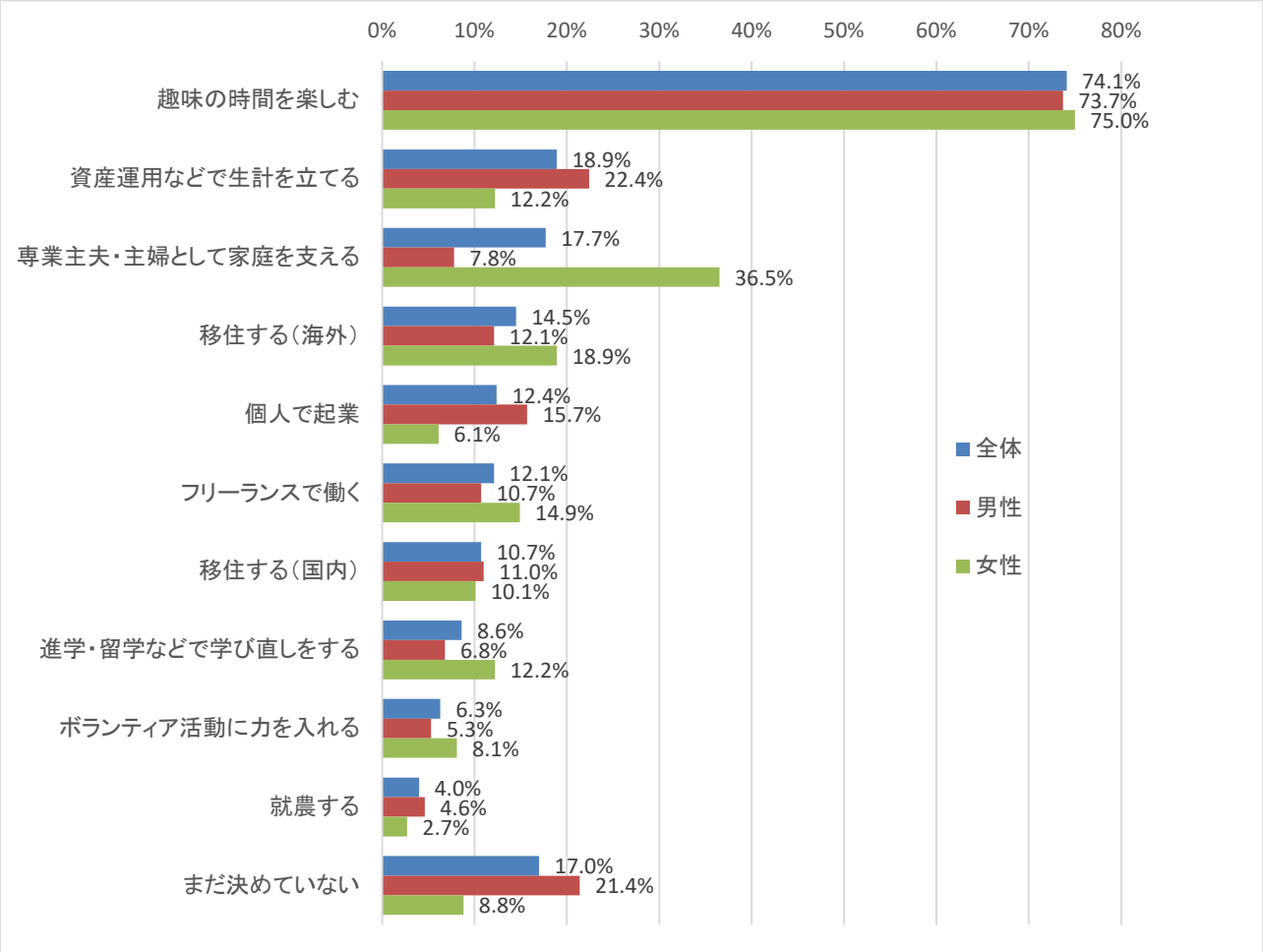


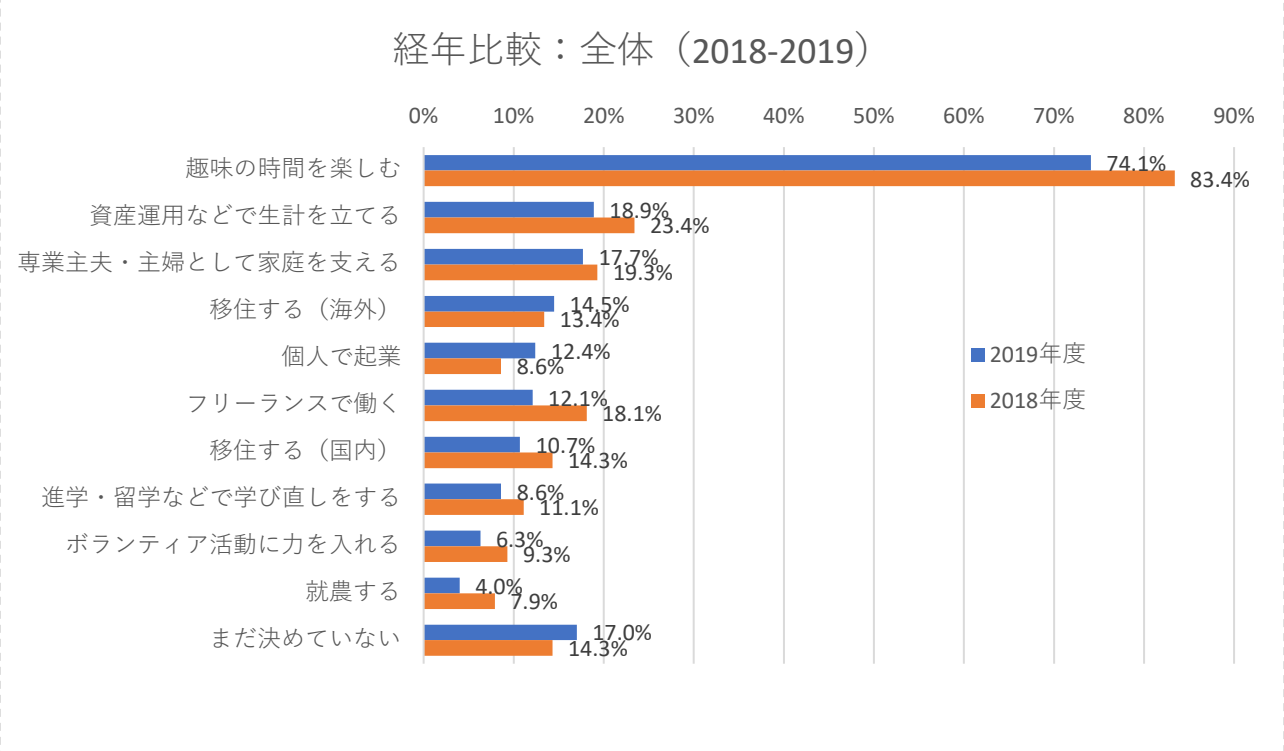




問１５．前問の年代で退職した後にやりたいことをお選びください。

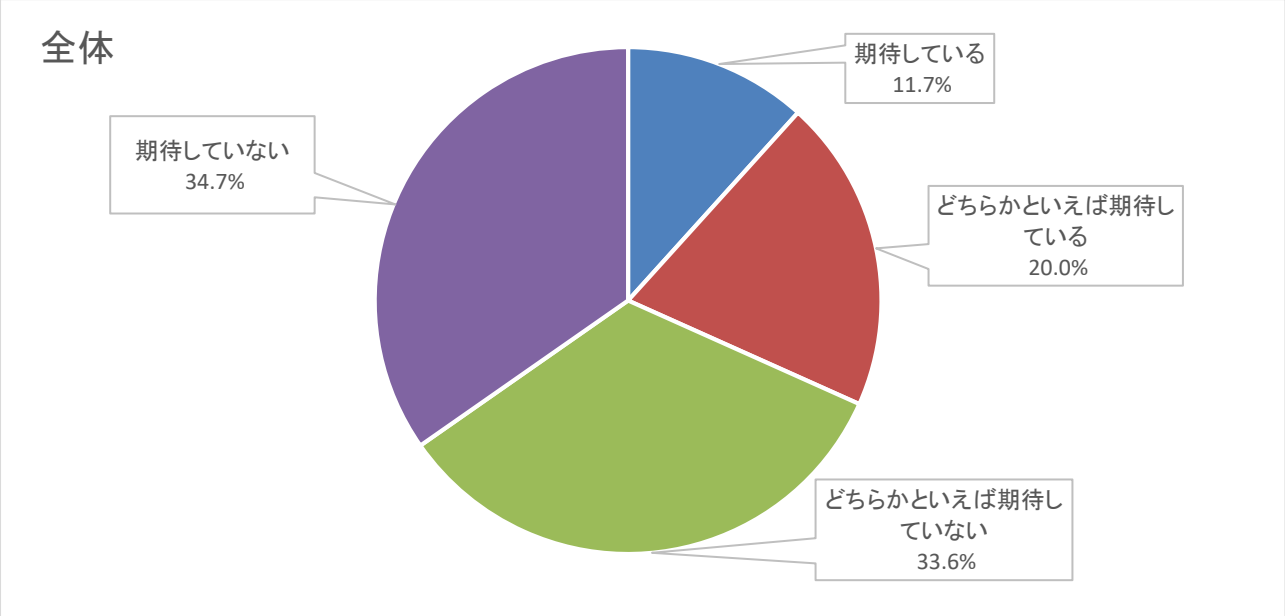
（n=426）

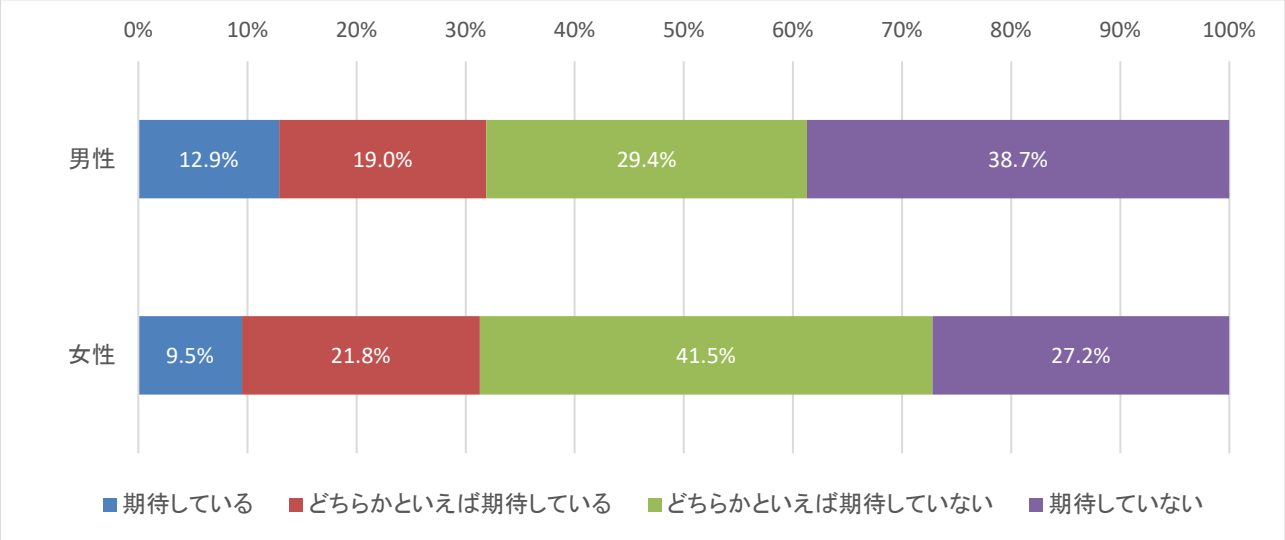


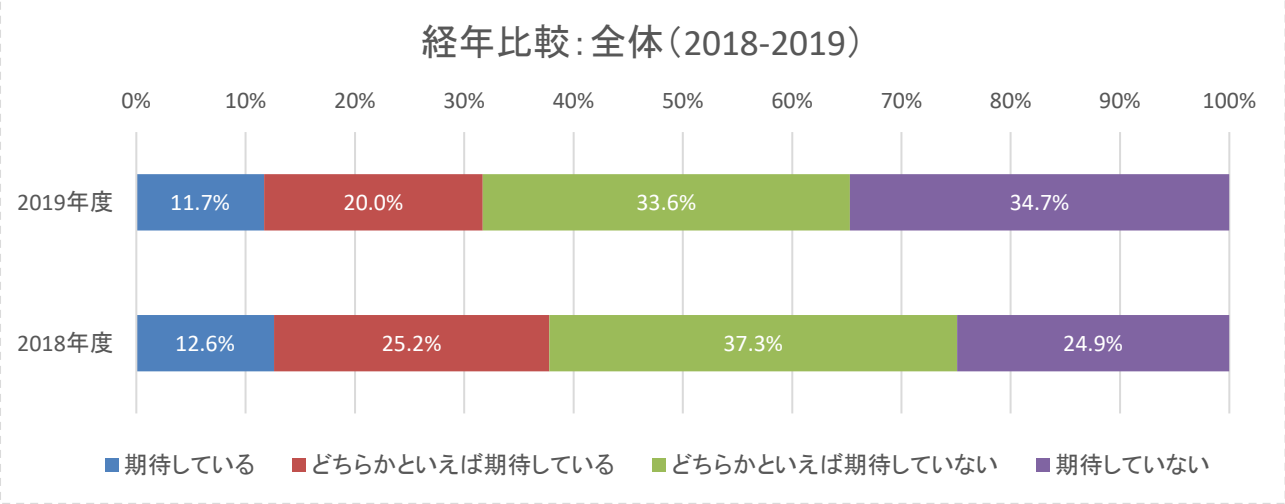


問１６．将来支給される公的年金（国民年金・厚生年金等）を老後の収入として期待していますか？

（n=426）

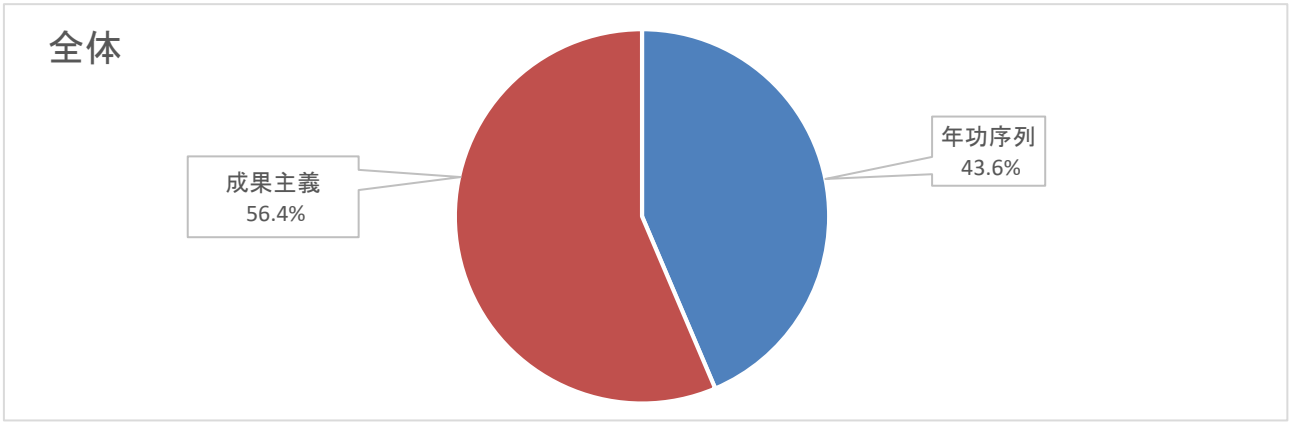


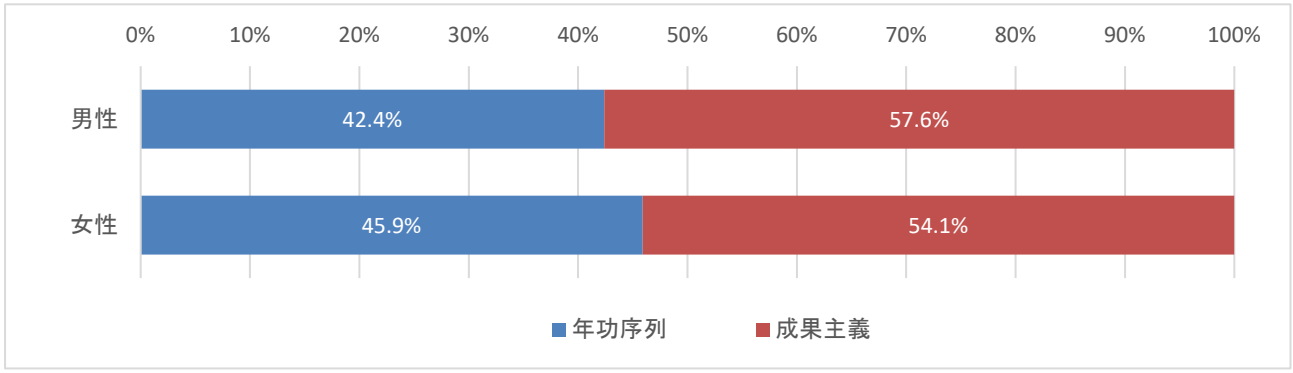


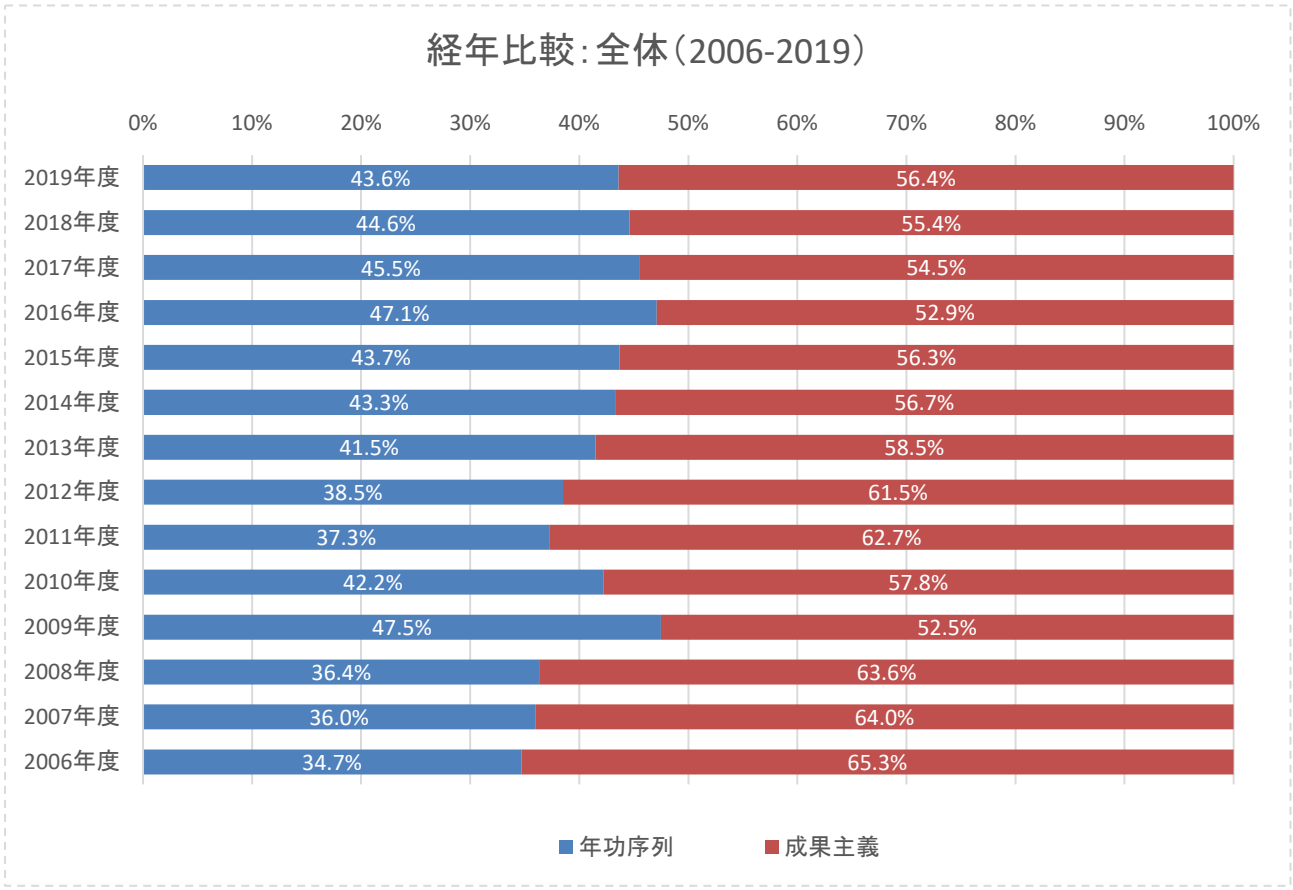


問１７．年齢や在籍年数に応じて昇進や待遇が決まる年功序列的な人事制度と、業績に応じて決まる成果主義的に人事制度ではどちらを望みますか？

(n=424)

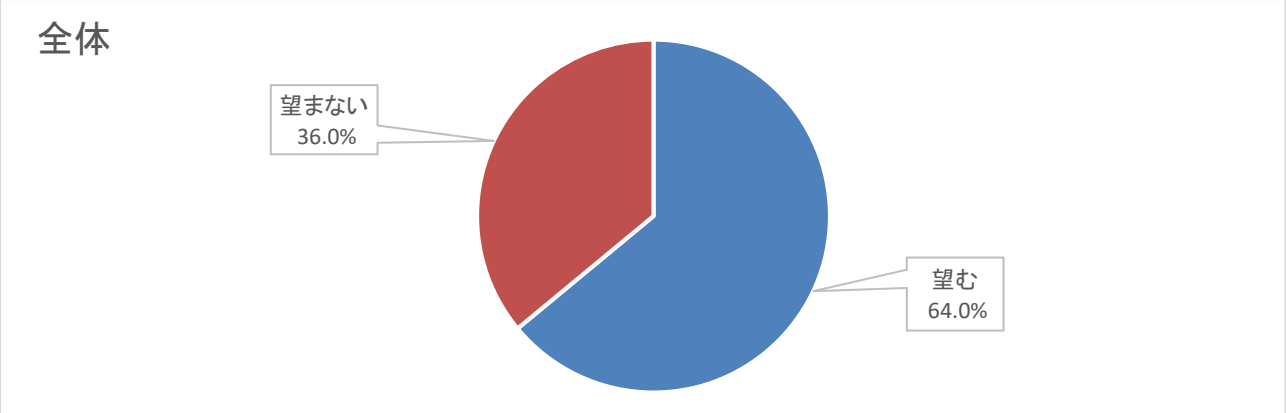


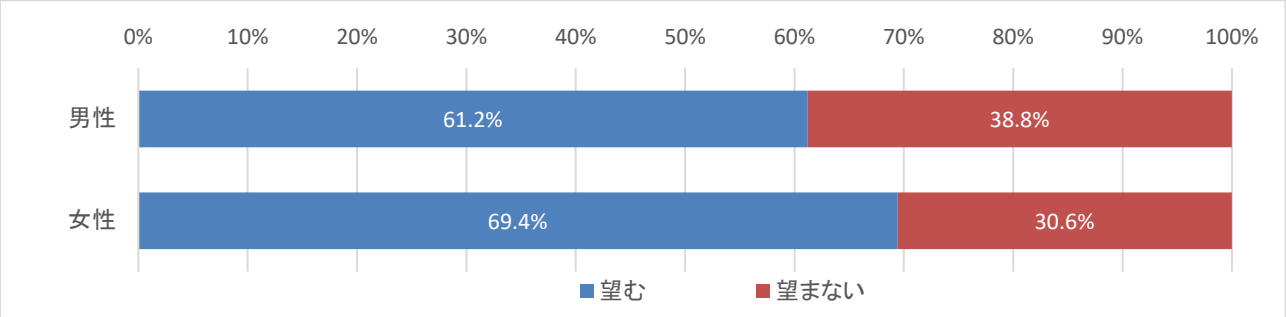


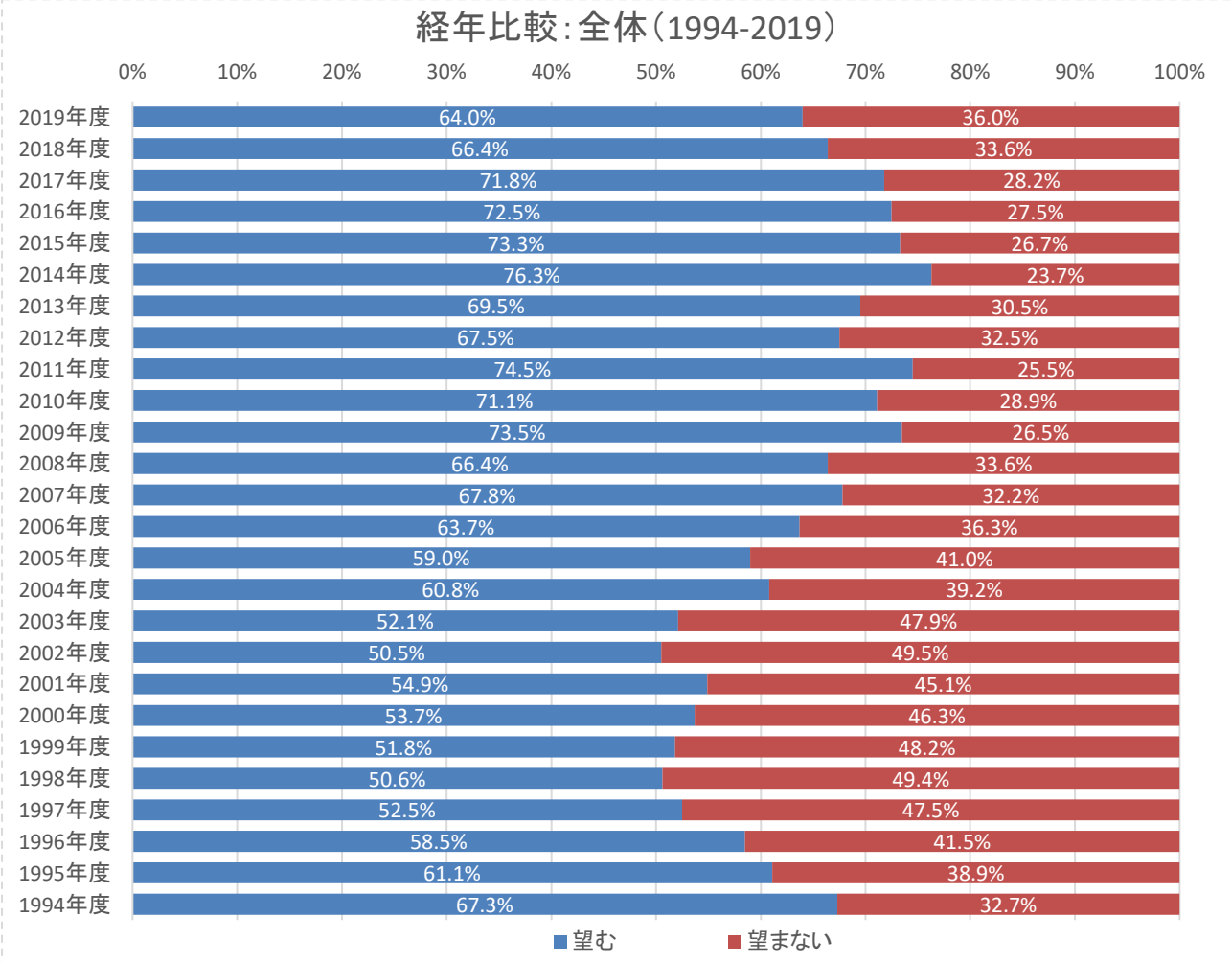


問１８．“終身雇用制度”を望みますか？

（n=422）

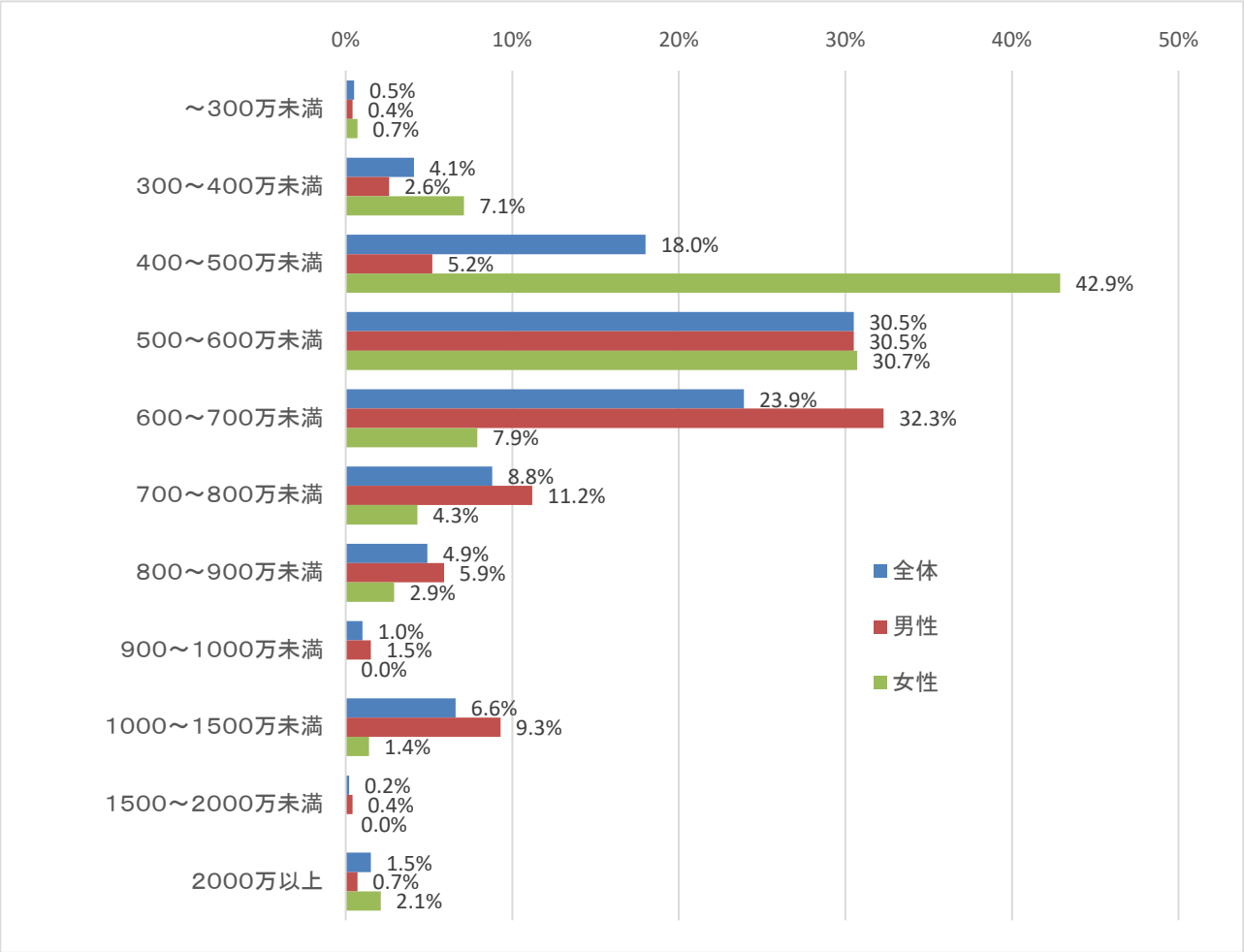






問１９．３５歳の時点でのあなたの理想の年収額はどのくらいですか？

（n=409）

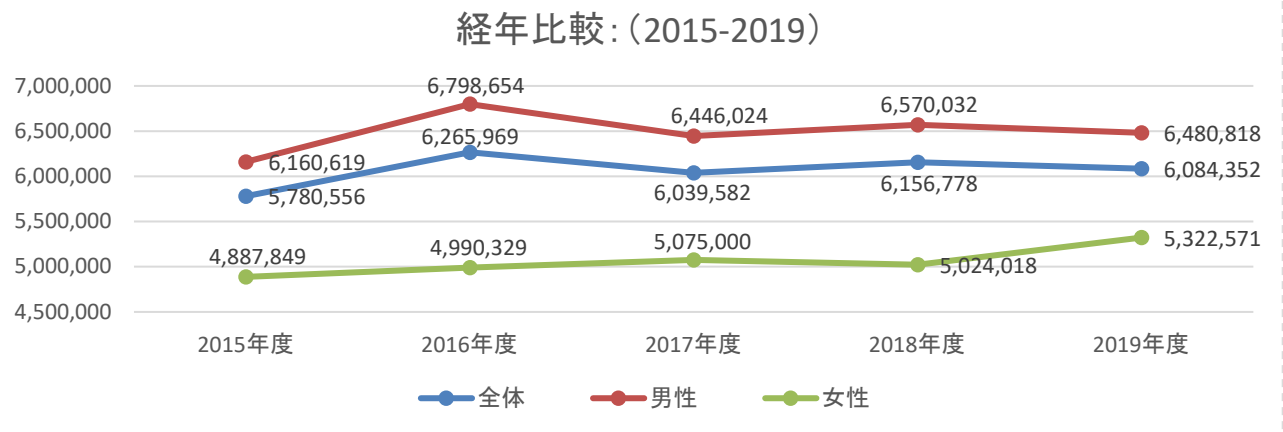


加 重 平 均 値

全体＝６,０８４,３５２円　／対昨年度比：　－７２,４２６円

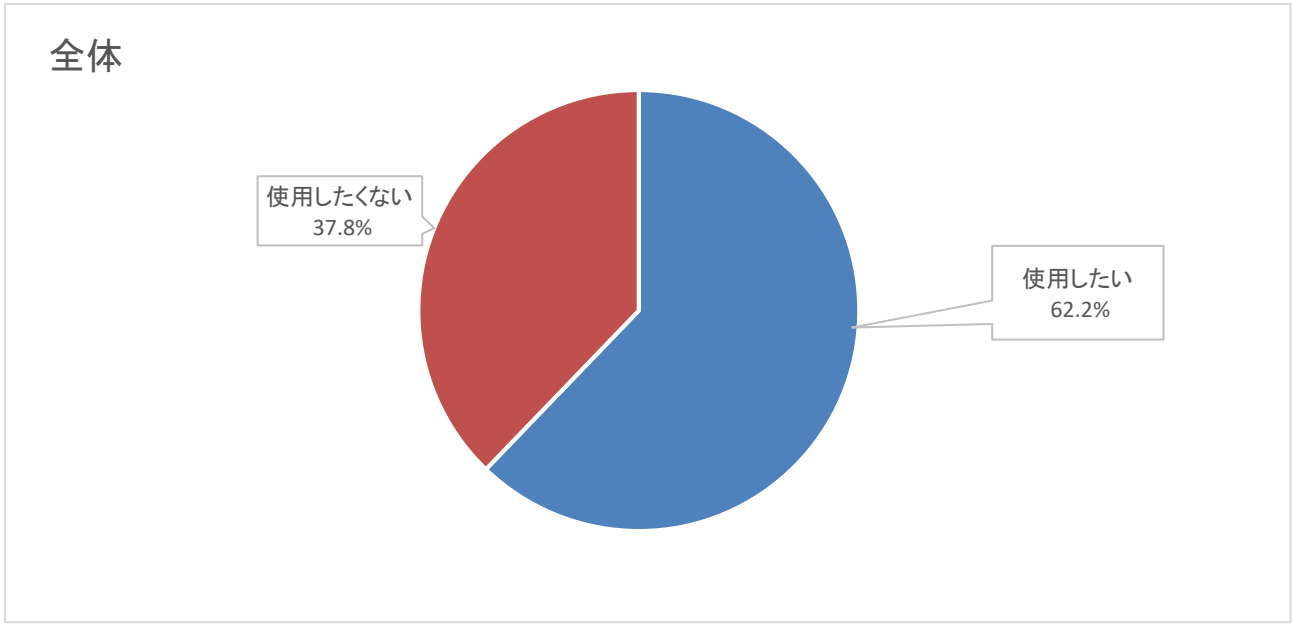
男性＝６,４８０,８１８円　／対昨年度比：　－８９,２１４円

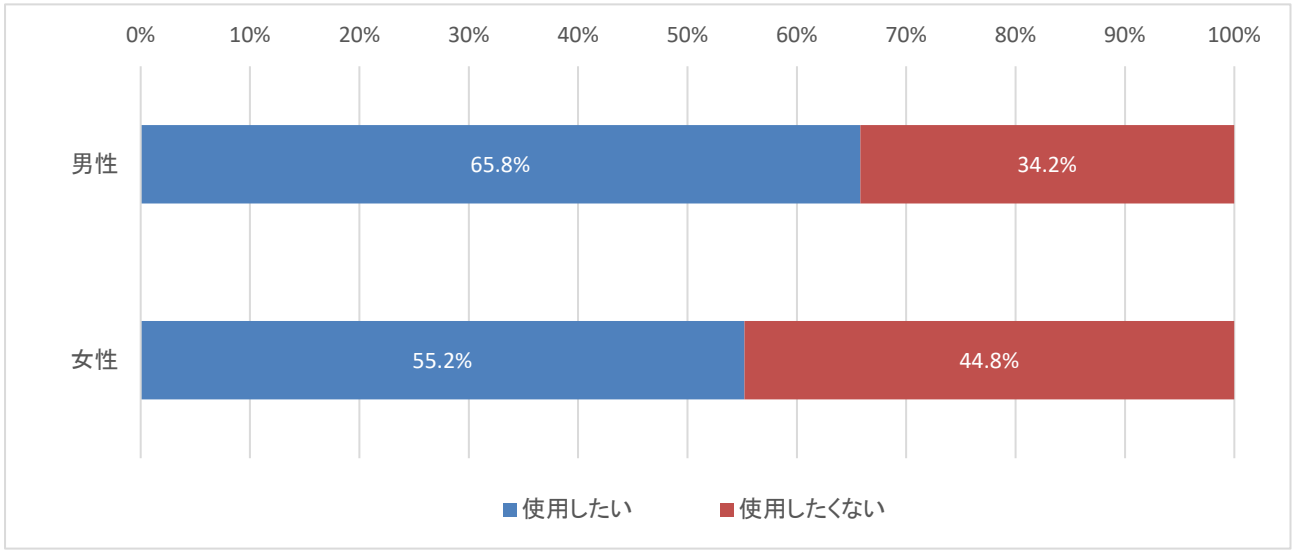
女性＝５,３２２,５７１円　／対昨年度比：＋２９８,５５３円

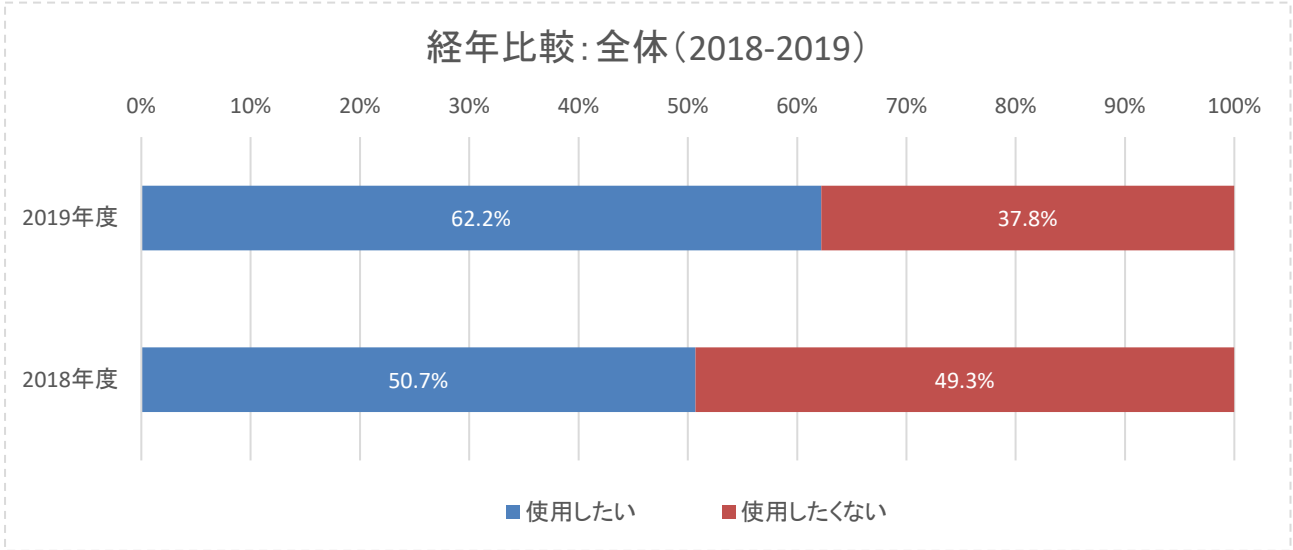


問２０．ＬＩＮＥなどのメッセージアプリを業務でも使用したいと思いますか？

（n=423）

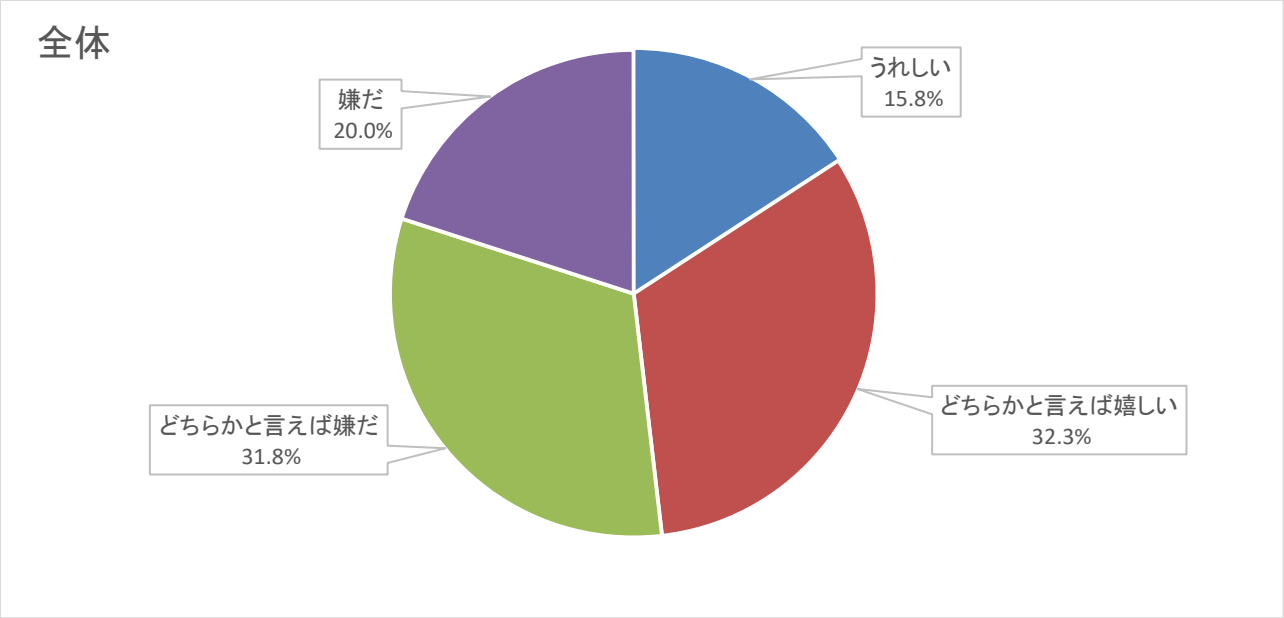


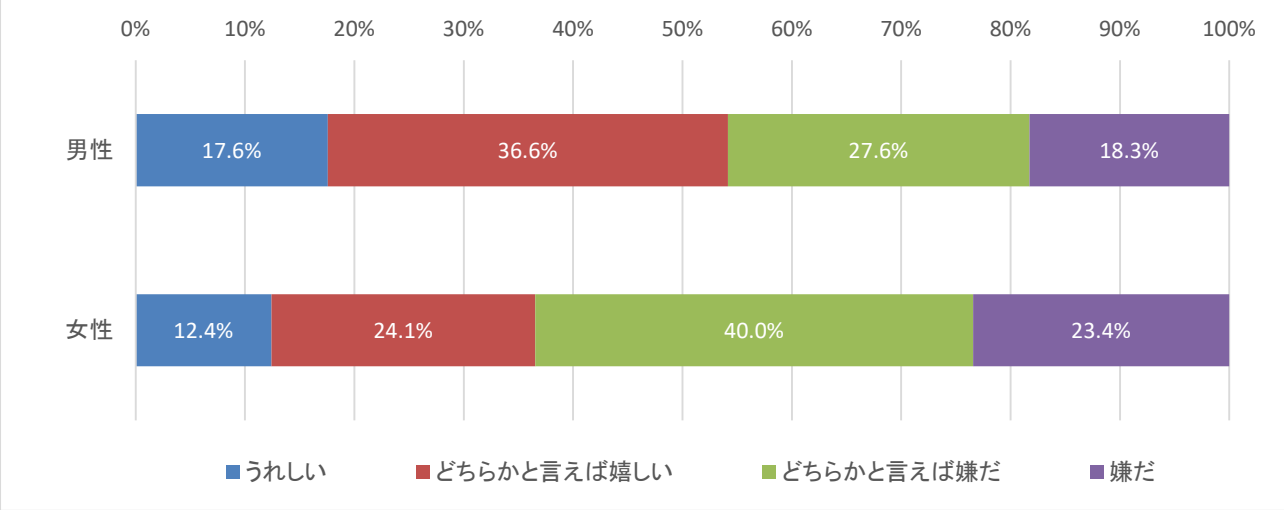


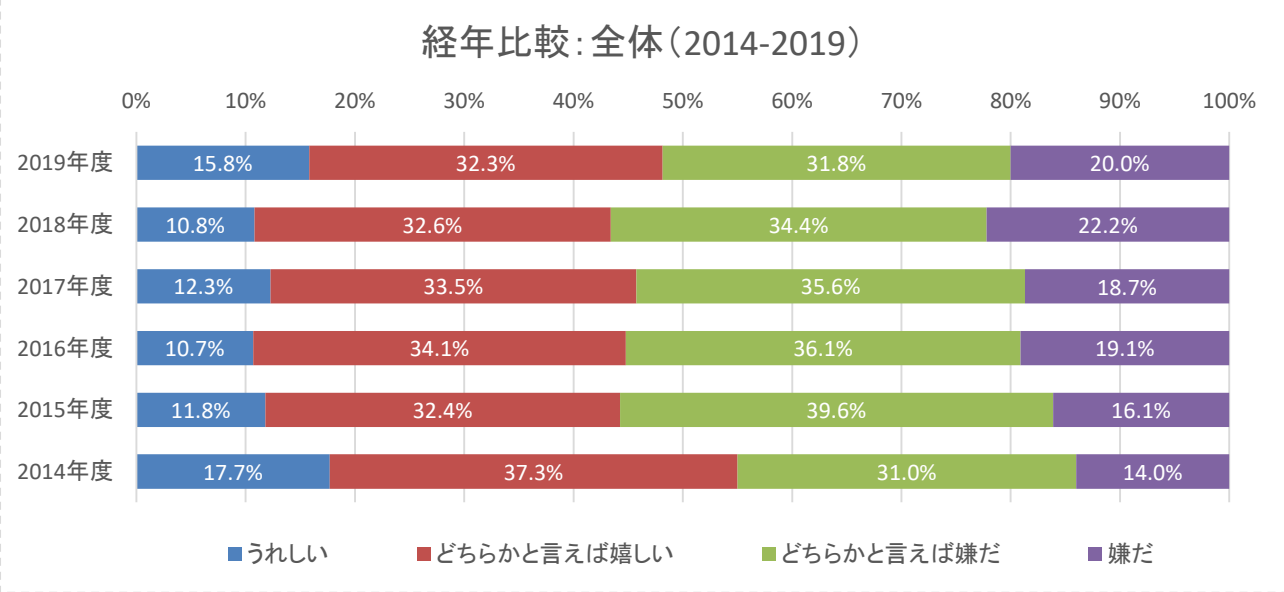


問２１．あなたは会社の上司からＳＮＳで友達申請があったらどう思いますか？

（n=424）

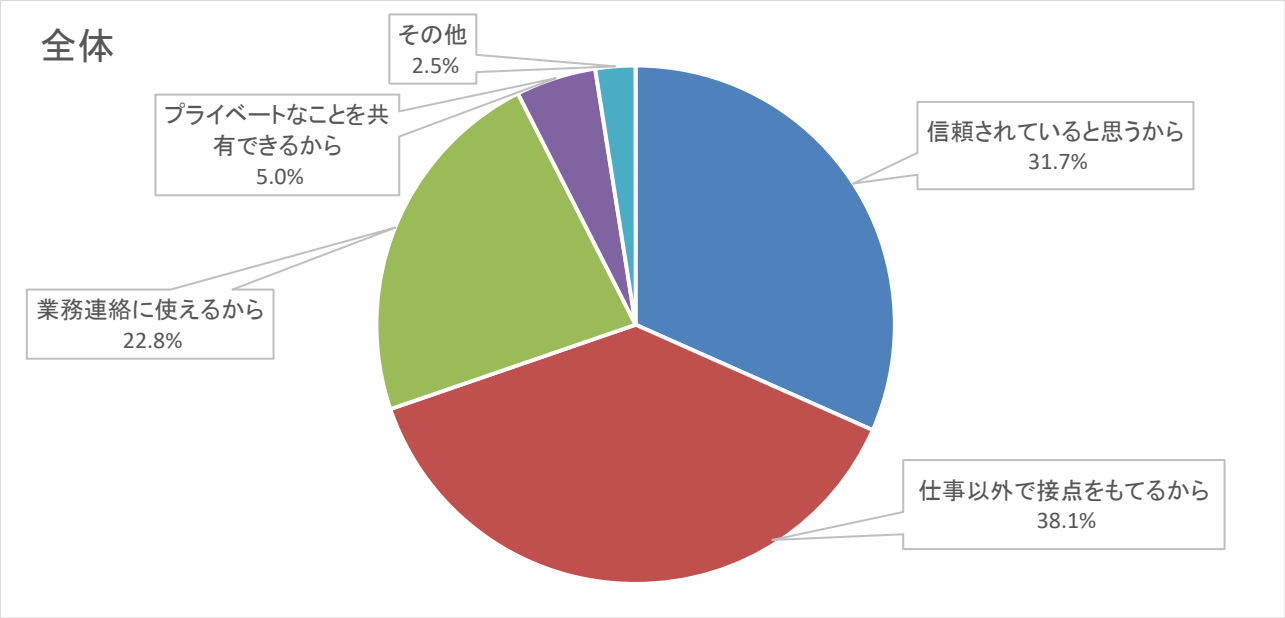


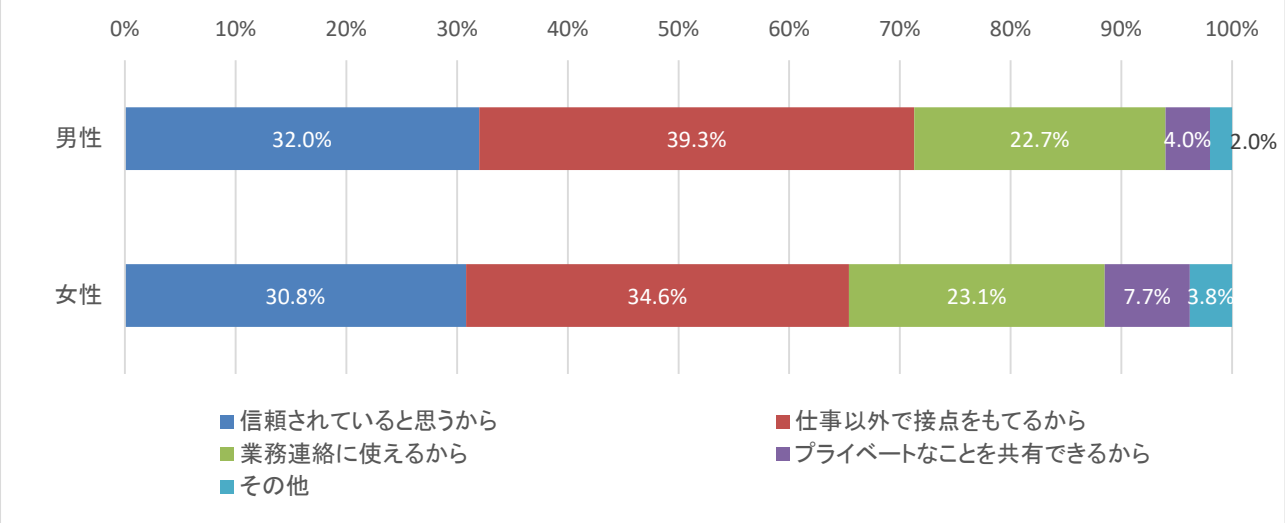


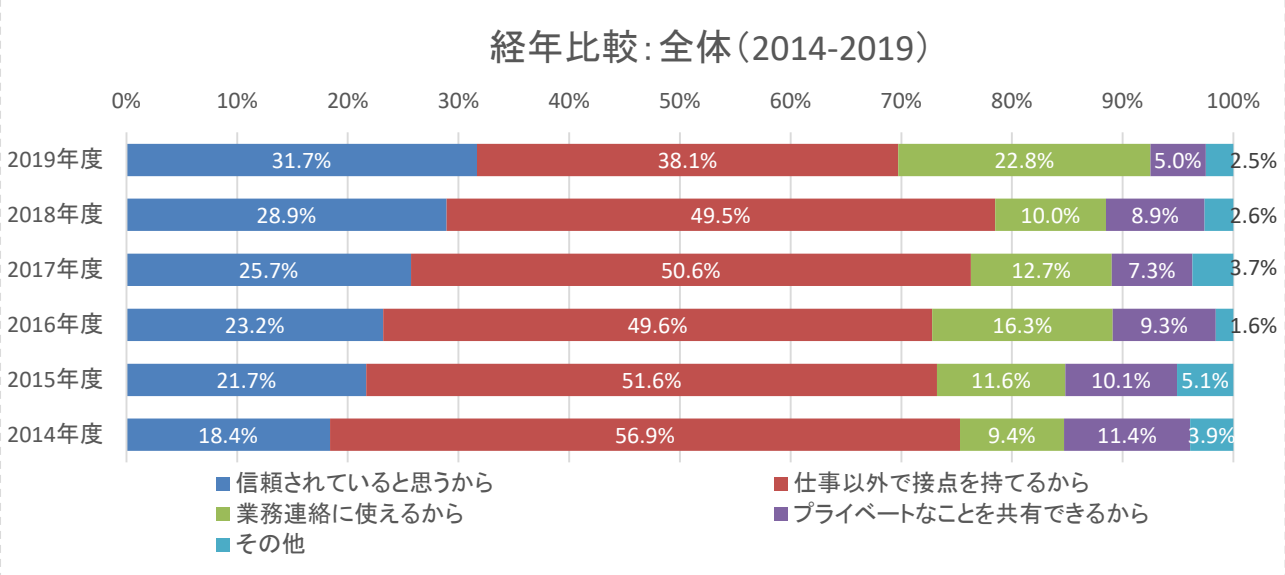


問２２．【問２１で１もしくは２と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

（n=202）

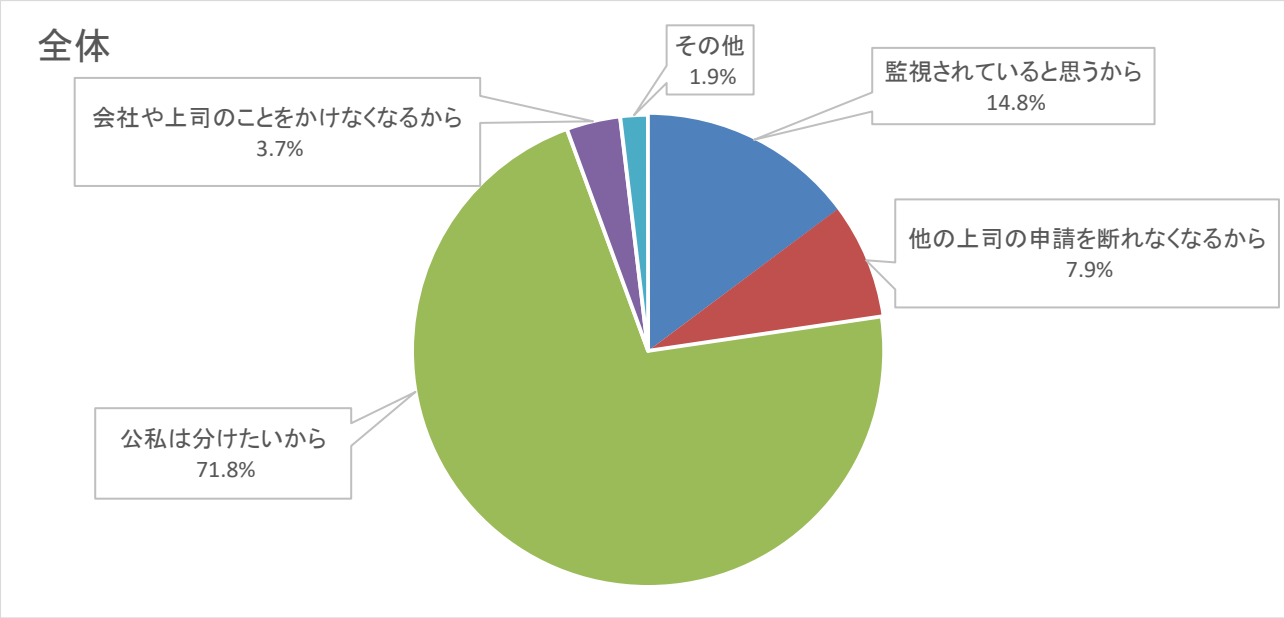


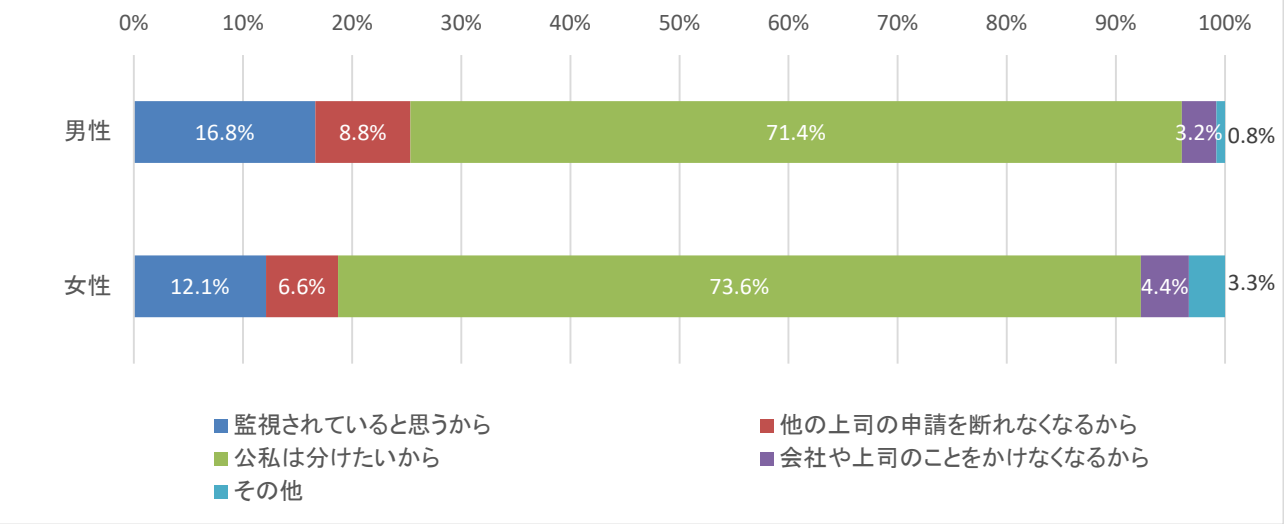


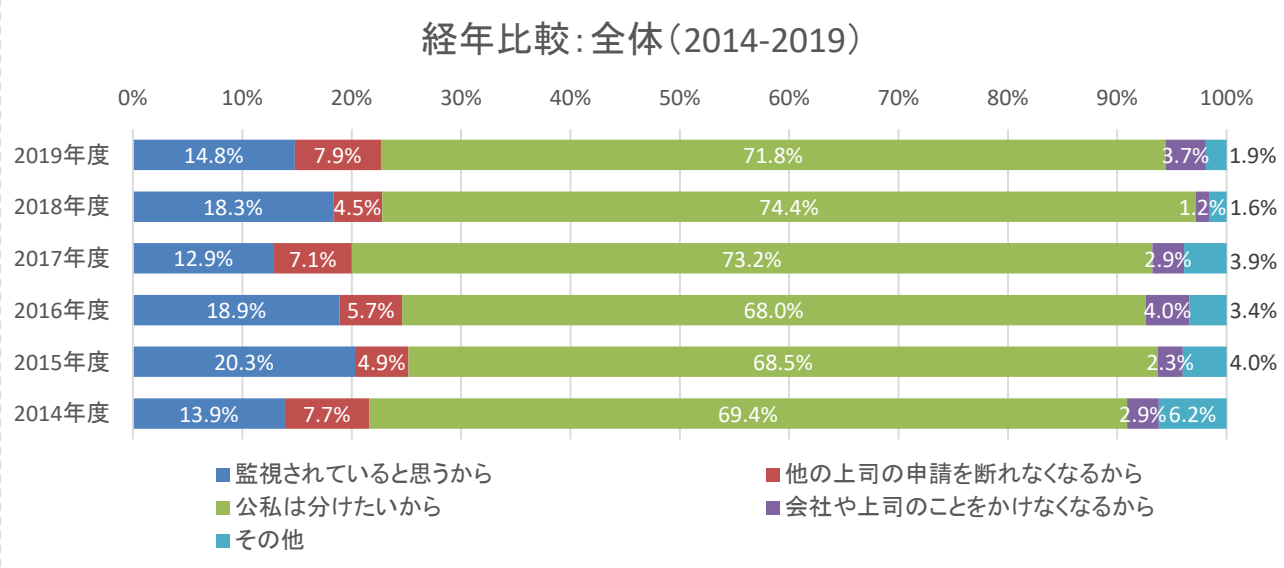


問２３．【問２１で３もしくは４と回答した方へ】どのような理由でそう思いますか？

（n=216）







２０１９年度（第３０回）
新入社員の会社生活調査

２０１９年6月

学校法人産業能率大学

〒158-8630　東京都世田谷区等々力 6-39-15

TEL：03-5758-5117／fax：03-5758-5503

（総合研究所　マーケティングセンター）